

令和 6 年度

工 事 設 計 書

工 事 名 獣肉解体処理施設増築工事

工事場所 西伯郡大山町羽田井

鳥取県 西伯郡 大山町全図

位置図



工事位置

1:50,000

この地図は、国土院の承認を得て、国院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平26中地 第47号)

工 事 概 要

- 1、 工 事 名 獣肉解体処理施設増築工事
- 2、 工 事 場 所 西伯郡大山町羽田井
- 3、 敷 地 面 積 1046.25 m²
- 4、 建 物 概 要 構造： 木造平屋建て
面積： 増築面積：21.84m²

- 5、 工 事 内 容 獣肉解体処理施設の増築を行う。
- 6、 共 通 仕 様
 - 1) 図面、特記仕様及び現場説明書に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築・電気設備・機械設備工事標準仕様書（最新年度版）」による。
 - 2) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合は、出来る限り町内業者と契約すること。ただし、適切に施工できる町内業者がない特殊な工事等を請け負わせる場合は、この限りではない。

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A 直接工事費		1.0	式			
B 共通仮設費	積上げ含む	1.0	式			
純工事費						
C 現場管理費	法定福利費含む	1.0	式			
工事原価						
D 一般管理費		1.0	式			
工事価格						
E 消費税相当額	10%	1.0	式			
総合計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A 直接工事費						
1 建築工事	内訳別紙	1.0	式			
2 電気設備工事	”	1.0	”			
3 プレハブ冷蔵庫設置工事	”	1.0	”			
計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 建築工事						
① 直接仮設工事		1.0	式			
② 土・コンクリート工事		1.0	〃			
③ 型枠・鉄筋工事		1.0	〃			
④ 防水・屋根・金属工事		1.0	〃			
⑤ 木工事		1.0	〃			
⑥ 左官工事		1.0	〃			
⑦ 建具・ガラス工事		1.0	〃			
⑧ 塗装・内装工事		1.0	〃			
⑨ 雑・外構工事		1.0	〃			発生材処分除く ()
小計						発生材処分除く ()

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
① 直接仮設工事						
やりかた	工場、倉庫等	21.84	㎡			コストP109
墨出し	躯体・仕上げ共	21.84	㎡			コストP109
外部足場	くさび繫結式足場 H10m以下 W600	85.62	架㎡			コストP117
垂直養生	メッシュシート	85.62	架㎡			コストP123
既設ドア養生	サッシ全面	1.70	㎡			コストP111
内部足場	脚立足場	21.84	㎡			コストP123
清掃・片付け		21.84	㎡			コストP111
竣工時清掃		21.84	㎡			コストP111
小計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
② 土・コンクリート工事						
根切り	布掘	27.80	m ³			コストP3
すきとり		4.59	m ³			コストP3
床付け		26.22	m ²			コストP3
埋戻し	発生土建物周辺仮置き土使用	21.65	m ³			コストP3
砕石砕石敷き	基礎下	1.90	m ³			コストP157
砕石砕石敷き	土間下	2.52	m ³			コストP157
残土処分	場内敷き均し	3.04	m ³			コストP127
残土運搬	場外	7.69	m ³			見積り
残土処分	場外	7.69	m ³			見積り
機械運搬費		1.00	往復			コストP3
捨てコンクリート	呼び強度18-15-20	0.63	m ³			米子地区生コンクリート協同組合
基礎・立ち上がりコンクリート	呼び強度27-18-20	3.72	m ³			米子地区生コンクリート協同組合
土間コンクリート	呼び強度27-18-20	2.97	m ³			米子地区生コンクリート協同組合
捨てコンクリート打設手間		0.6	m ³			施工単価P17
基礎コンクリート打設手間		3.7	m ³			施工単価P17

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土間コンクリート打設手間		3.0	m ³			施工単価 P17
ポンプ圧送費		3.00	回			施工単価 P18
小計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
③ 型枠・鉄筋工事						
基礎型枠	普通合板	5.08	㎡			コストP17
立上り型枠	普通合板	30.25	㎡			コストP17
型枠運搬費	4t車	35.33	㎡			コストP17
異形鉄筋	SD295A D10	79.00	kg			建設物価P16
異形鉄筋	SD295A D13	317.00	kg			建設物価P16
異形鉄筋金網		45.52	kg			積算資料P56
鉄筋組立加工費		0.44	t			施工単価P12
鉄筋運搬費		0.44	t			施工単価P12
差筋アンカー	D10	166.00	本			コストP272
小計						

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
④ 防水・屋根・金属工事						
嵌合式立平葺き	カラーガルバリウム鋼板t0.5	27.87	m ²			見積り
ゴムアスファルトルーフィング	t0.5	27.87	m ²			見積り
唐草(水上・水下・ケラバ)	カラーガルバリウム鋼板t0.5	21.32	m			見積り
鼻隠し・ケラバ包み	カラーガルバリウム鋼板t0.5	10.66	m			見積り
屋根+壁見切り材	カラーガルバリウム鋼板t0.5	6.06	m			見積り
壁+壁見切り材	カラーガルバリウム鋼板t0.5	6.60	m			見積り
土台水切り	カラーガルバリウム鋼板t0.5	13.16	m			見積り
荷揚費		1.00	式			見積り
運搬費		1.00	式			見積り
軒樋	カラー塩ビ	6.00	m			コストP265
竪樋	カラー塩ビφ60	3.00	m			コストP265
エルボ		1.00	箇所			コストP265
外壁材窯業系サイディング	塗装品t14	31.53	m ²			見積り
同上コーナー	同上同材	10.0	m			見積り
防湿シート張り		31.53	m ²			見積り

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軒天取り合い通気見切り		13.16	m			見積り
土台敷気密パッキン		18.28	m			見積り
副資材		31.53	m ²			見積り
運搬費		1.00	式			見積り
防水塗装	ケイ酸質系防水	3.74	m ²			コストP235
軒天ケイカル板張り	t6.0 直貼り	5.68	m ²			施工単価P421
同上塗装	エマルジョンペイント 素地調整を含む	5.68	m ²			コストP342+コストP344
窯業系サイディングシーリング	変性シリコーン6*6	23.70	m			コストP19
建具周囲シーリング	変性シリコーン15*10	15.78	m			コストP19
換気口・ドレン周囲シーリング	変性シリコーン15*10	2.00	m			コストP19
腰壁取り合いシーリング	変性シリコーン15*10	40.60	m			コストP19
小計						

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
⑤ 木工事						
構造材		1.00	式			見積り
プレカット費		1.00	式			見積り
端柄加工費		1.00	式			見積り
タナカ新腰高羽子板255		16.00	個			見積り
片ネジボルト		4.00	個			見積り
片ネジボルト		12.00	個			見積り
スプリングワッシャ付角座金		32.00	個			見積り
2倍筋交い		12.00	個			見積り
オメガ火打600		8.00	個			見積り
ダボ		5.00	個			見積り
運搬費		1.0	式			見積り
内部壁下地	合板特類 12*910*1820	22.0	枚			積算資料P616
土台・腰壁廻縁		9.0	本			建設物価P160
大工	土台敷、上棟、造作、内装ボード張り	28.0	人役			建設物価P885
小計						

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
⑦ 左官工事						
外部立上り補修	全面モルタル	5.24	㎡			コストP23
内部巾木補修	全面モルタル	5.74	㎡			コストP23
プレハブ立上り取り合い補修	防水モルタル充填	8.60	m			コストP23
床コンクリート金コテ押え	直均し仕上げ	25.58	㎡			コストP23
小計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
⑧ 建具・ガラス工事						
片開きアルミドアAD-1	材料費+労務費	1.00	箇所			コストP316+見積り
両引き分けアルミドアAD-1'	材料費+労務費	1.00	箇所			コストP316+見積り
両引き分けアルミドアAD-2	材料費+労務費	1.00	箇所			コストP316+見積り
FIX窓AW-1	材料費+労務費	1.00	箇所			コストP316+見積り
片開きアルミドアAD-1ガラス	型板ガラスt4.0	0.70	m ²			コストP26
両開きアルミドアAD-2ガラス	型板ガラスt4.0	0.98	m ²			コストP26
FIX窓AW-1ガラス	型板ガラスt4.0	0.28	m ²			コストP26
ガラスシーリング	バックアップ材含む	11.50	m			コストP26
取付・設計費		10.00	人役			建設物価P885
運搬費		1.00	式			見積り
小計						

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
⑨ 塗装・内装工事						
エポキシ系塗床	防塵塗床 巾木含む	7.05	㎡			コストP360
防腐防蟻塗装	キシラモン3W	40.00	㎡			見積り
腰壁ステンレス貼り	t0.5	14.65	㎡			見積り
天井化粧石膏ボード	t9.5 準不燃 直貼り	16.13	㎡			コストP375
天井点検口	アルミ450×450 開口費含む	1.00	箇所			コストP379
天井点検口(ガラリ)	アルミ450×450 開口費含む	1.00	箇所			コストP379+見積り
廻り縁	塩ビ突付け	25.94	m			コストP377
小計						

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
⑨ 雑・外構工事						
家具①	バタ角	3.00	台			見積り
同上運賃取付費		1.00	式			見積り
既存縁石撤去		5.46	m			見積り
既存アスファルト舗装撤去		17.35	m ²			施工単価P464
既存アスファルト舗装カッター		6.85	m			施工単価P458
既存コンクリート舗装撤去		2.38	m ²			コストP420
既存犬走り撤去	t150	1.40	m ²			コストP420
新設犬走り	呼び強度27-18-20	0.81	m ³			米子地区生コンクリート協同組合
同上打設手間		0.81	m ³			施工単価P17
同上ポンプ圧送費		1.00	回			施工単価P18
同上異形鉄筋金網	組立運搬費は③に含む	26.89	kg			積算資料P56
同上型枠	普通合板 運搬費は③に含む	1.92	m ²			コストP17
同上差筋アンカー	D10	48.00	本			コストP272
がれき類積込・運搬		0.69	m ³			参考処分先 (有)大成商事
コンクリート類積込・運搬		0.53	m ³			参考処分先 (有)大成商事

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
がれき類処分		1.03	t			参考処分先 (有) 大成商事
コンクリート類処分		0.78	t			参考処分先 (有) 大成商事
雨水枡	360*360*480	1.00	箇所			コストP395
排水管	VP Φ100	3.50	m			コストP395
U字溝	W150	3.20	m			見積り
SUSグレーチング	細目ノンスリップ	3.20	m			見積り
排水接続用穿孔	Φ150	3.00	箇所			コストP422
小計						発生材処分除く ()

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 電気設備工事						
① 電灯コンセント設備工事	内訳別紙	1.0	式			
② 既設エアコン移設工事	〃	1.0	〃			
③ 給排気設備工事	〃	1.0	〃			
小計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
① 電灯コンセント設備工事						
電線管	VE22	2.00	m			見積り
支持材・付属品		1.00	式			見積り
アウトレットボックス	四角中浅102*102*44 塗代付	5.00	庫			見積り
J.BOX	四角中浅102*102*44 ブランクカバー	2.00	庫			見積り
露出ボックス	丸型22mm1方向出 1個用	1.00	庫			見積り
スイッチボックス	角形22mm1方向出 1個用	1.00	庫			見積り
電線	EM-IE1.6mm×1	4.00	m			見積り
ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C	16.00	m			見積り
ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C	23.00	m			見積り
ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C	65.00	m			見積り
ケーブル	EM-CE5.5mm2-3C	5.00	m			見積り
ケーブル	EM-CE3.5mm2-4C	30.00	m			見積り
ケーブル	EM-AE1.2mm-2C	52.00	m			見積り
埋込形スイッチ	3W15A×1 樹脂プレート	1.00	組			見積り
埋込形スイッチ	1P15A×13 W15A×1 4APLSW×1 樹脂プレート	1.00	組			見積り

大 山 町

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設埋込形スイッチ撤去	1P15A×1 樹脂プレート取替え	1.00	箇所			見積り
直付天井灯A691	40形昼白色6900lm HACCP対応	2.00	台			見積り
直付天井灯A251	40形昼白色6900lm HACCP対応	1.00	台			見積り
埋込形コンセント	2P15A×1 接地端子付樹脂プレート	1.00	組			見積り
埋込形コンセント	2P15A×1 接地極付・端子付樹脂プレート	1.00	組			見積り
手元開閉器(漏電保護用)	3P30AF30AT30mA 樹脂屋内用	1.00	個			見積り
電子チャイム		1.00	台			見積り
雑材消耗品費		1.00	式			見積り
電工費		1.00	式			見積り
小計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
② 既設エアコン移設工事						
エアコン撤去・再取付費	架台・ブロック再利用	1.00	式			見積り
スリムダクト等雑材		1.00	式			見積り
小計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
③ 給排気設備工事						
有圧換気扇	電動シャッター付格子タイプ	1.00	個			見積り
同上付属品木枠		1.00	個			見積り
ウェザーカバー		1.00	個			見積り
給気グリル		2.00	個			見積り
深型フード		2.00	個			見積り
換気用スリーブ		2.00	箇所			見積り
雑材消耗品		1.00	式			見積り
電工費		1.00	式			見積り
小計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 プレハブ冷蔵庫設置工事						
① プレハブ冷蔵庫設置工事	内訳別紙	1.0	式			
小計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
① プレハブ冷蔵庫設置工事						
プレハブ冷蔵庫	1900×2400×H2500	1.0	式			見積り
インバータコンデンシングユニット	冷凍能力：1.425kw	1.0	台			見積り
ユニットクーラー	除霜方式：電気ヒーター	1.0	台			見積り
コントローラー		1.0	台			見積り
配線セット		1.0	式			見積り
スリットカーテン	送料含む	1.0	式			見積り
室外機架台	平設置H500	1.0	台			見積り
組立労務運送費		1.0	式			見積り
小計						

内 訳 書

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B 共通仮設費(積上げ)						
敷き鉄板	t22.0	21.53	㎡			コストP103
小計						

獣肉処理施設増築工事

設計図面

令和6年度

大山町

● 建具工事

・ 木製建具
市販品
図示による

建具の加工、組立時の含水率 ※日種 (16.7.2)

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外 第三種

・ フラッシュ戸

合板の種類	規格等	備考
普通合板 [G]	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1種・2種)	
・天然木 化粧合板	樹種名 () 接着の程度 (・1種・2種)	
・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装) 表面性能 () タイプ 接着の程度 (・1種・2種)	

表面板の厚さ ※表16.7.6による

・ かまも戸 (16.7.2)

かまも戸 () 鏡板樹種 ()
見込み寸法 ※30mm 建具表による

・ ふすま

張りの種別 (・I型・II型)
上張り (・鳥の子・新鳥の子又はビニル紙程度) 押入等の裏側は雲花紙程度
縁仕上げ (・妻り縁・生地縁(黒地)・生地縁(ウレタンクリアー塗装))
見込み寸法 ※19.5mm 建具表による

・ 戸ぶすま
見込み寸法 ※30mm 建具表による

・ 紙張り障子
見込み寸法 ※30mm 建具表による

特、くつずりの材料 建具表による

※取付け調整は、1名以上の技能士が自ら作業するとともに、他の技能者に対して、施工品質の工場を認めるための作業指導を行うこと。

● 鍵

マスターキー 製作する ● 製作しない (16.8.4)

その他の鍵 ※各室3本1組

鍵種 有 ● 無

・ 自動ドア開閉装置 (16.9.2)

自動ドア	自動ドア	防 錆	センサーの種類	凍結防止装置
・ SSLD-1 ※標準仕様書表	・ SSLD-2 16.9.11による	・ 適用する ・ 適用しない	・ 光線(反射)スイッチ ・ 音波スイッチ ・ 電波スイッチ ・ タッチスイッチ ・ ペダルスイッチ ・ 押しボタンスイッチ	・ 行う (適用箇所は 建具表による)
・ DSLD-1 ・ DSLD-2				・ 行わない
・ SWD-1 ※標準仕様書表	・ SWD-2 16.9.11による			
・ 図示				

・ 自閉式上吊り引戸装置 自閉式上吊り引戸装置の性能 ※標準仕様書表16.9.11による (16.10.1)

● ガラス (16.14.2)

・ 合わせガラス

品 種	構 成 種 類	性 能
※ フロート合わせガラス	※ フロート板合わせガラス ・ 熱線吸収、フロート板合わせガラス	・ I 類
・ 網入り合わせガラス	・ 網入り板、フロート板合わせガラス ・ 網入り層、熱線吸収合わせガラス	・ II-1 類 ・ II-2 類 ・ III 類

・ 強化ガラス

材料板ガラスによる種類	種 類	性 能
・ フロートガラス	・ フロート強化ガラス ・ 熱線吸収強化ガラス	・ I 類 ・ II 類
・ 型板ガラス	・ 網入り層、熱線吸収合わせガラス ・ 型板強化ガラス	

品 種	性 能	色 調
・ 熱線吸収フロート板ガラス	・ 1 種 ・ 2 種	・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ
・ 熱線吸収網入り磨き板ガラス		

・ 複層ガラス

品 種	断 熱 性	日 射 熱 遮 へ い 性
・ 断熱複層ガラス	・ 1 種 ・ 2 種	U 1 U 2
・ 日射熱遮へい複層ガラス	・ 3 種	U-3-1 ・ U-3-2
・ 断熱遮へい複層ガラス	・ 4 種 ・ 5 種	E 4 E 5

・ 熱線反射板ガラス

品 種	色 調
・ 熱線反射ガラス	・ ブルー ・ グレー
・ 高性能熱線反射ガラス	・ ブロンズ ・ シルバー

品 種	日射熱遮へい性	耐 久 性	ガ ラ ス の 種 類
・ 熱線反射ガラス	・ 1 種	・ A 種	
・ 高性能熱線反射ガラス	・ 2 種 ・ 3 種	・ A 種 ・ B 種	

反射皮膜面 ・ 内面 ・ 外面
映像調整 ・ 行わない ・ 行う (16.14.4)

・ 倍強度ガラス

材料板ガラスによる種類の名称	色 調
・ フロート倍強度ガラス	
・ 熱線吸収倍強度ガラス	・ ブルー ・ グレー ・ ブロンズ

ガラス留め材 (16.14.2)

建 具 の 種 類	材 種
鋼製	※ シーリング材
アルミニウム製	シーリング材 ・ ガasket (グレイジングチャンネル形)
ステンレス製	※ シーリング材
木製	※ シーリング材

・ ガラスブロック積み

製造所 JIS A 5212によるもの (16.14.5)

寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面形状

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。
壁用金属特及び接着剤 ・ 設ける (形状 ※図示)

化粧目地モルタルの色 ※標準色 ・ 特注色
シーリング材の種類
金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス ・ アルミニウム製
寸法 ・ 図示
形状 ・ 図示

● 材料 (18.1.3)

屋内で使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外 第三種
・ 防火塗料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする (箇所:)

● 素地ごしらえ (18.2.2~7)

下地面等	種 別
木部	不透明塗料塗りの場合 ※A種・B種 透明塗料の場合 ※B種・A種
鉄鋼面	※C種・A種・B種
塗膜のつき	※A種・B種・C種
モルタル面及びプラスチック面	※B種・A種
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	※B種・A種
せっこうボード面及びその他	※A種・B種
ボード面	目地: 継目処理工法以外 ※B種・A種

【18.3.2.3】

下地面等	工程の種類	塗料の種類
鉄鋼面	見え掛り部分 ※A種・B種 見え隠れ部分 ※B種・A種	
塗膜のつき	鋼製建具 ※A種・B種・C種 鋼製建具以外 ※C種・A種・B種	・ A種・B種 ・ C種

【18.4.1.2】

塗装	種 別	塗料の種類
・ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)	木部屋外 ※A種・B種 ※1種・2種 木部屋内 ※B種・A種 ※1種・2種 鉄鋼面 ※B種・A種 ※1種・2種 塗膜のつき鋼面 - ※1種・2種	
・ クリヤラッカー塗り (CL)	※B種・A種	-
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (ND)	※B種・A種	-
・ 耐熱性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 - 上塗り等級 () 級 塗膜のつき鋼面 - 上塗り等級 () 級 コケシ面及び押出成形 セメント板面	・ A種・B種・C種 ・ A種・B種 () 級
・ つやや合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コケシ面等 ※B種・A種	-
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	※B種・A種	-
・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	※B種・A種	-
・ ウレタン樹脂フニス塗り (UC)	※B種・A種	-
・ ラッカーエナメル塗り (LE)	※B種・A種	-
・ オイルステイン塗り (OS)	-	-
・ 木材保護塗料塗り (WP)	※B種・A種	-

屋上、屋根面の金属面に塗装する場合の塗料は高日射反射率塗装 [G] とする。

● 内装工事 (19.2.2)

壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等を用いた接着剤のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外 第三種
接着剤に含まれる可塑剤は、揮発性のものとする

● ビニル床シート [G] (19.2.2.3)

種 類	JIS記号	施工箇所	色 柄	特殊機能	厚さ (mm)
発泡のないもの	※ F S (複層ビニルシート)	・ 図示	・ 無地 ・ マーブル柄	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重	※ 2.5
発泡のあるもの			・ 無地 ・ 柄物	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重	・ 2.0 ・ 3.0

工 法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所:)
特殊機能
・ 帯電防止 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷~1×10¹⁰Ω程度

● ビニル床タイル [G] (19.2.2)

JIS記号	施工箇所	色 柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備 考
・ FT (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0	
・ KT (20°グリップビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 30×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2.0 ・ 3.0	
・ FOA (凹凸ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・	

特殊機能
帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満
又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10⁷~1×10¹⁰Ω程度

● ビニル幅木 (19.2.2)

材質 ・ 軟質 ・ 硬質
高さ (mm) ※60 ・ 75 ・ 100
厚さ (mm) ※1.5以上

● ゴム床タイル (19.2.2)

色柄 ()
厚さ (mm) () 3.0 4.5 6.0 9.0
寸法 (mm) ()

・ カーペット敷き G (19.7.2.3)

種 類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等
・ 硬質毛セメント板 [G]	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・ 中質毛セメント板 [G]	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・ 普通毛セメント板 [G]	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25
・ 硬質木片セメント板 [G]	HW	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21
・ 普通木片セメント板 [G]	NW	・ 30
● けい酸カルシウム板	0.0FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ・ 6 ・ 8
・ ロックウール吸音板	DR	・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 () ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ()
・ ロックウール吸音板 1号	RW-B	・ 25
・ グラスウール吸音板 3号3X	GW-B	・ 25 (3'539X2色)
● せっこうボード	GB-R	※12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
・ 不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃) 化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)
・ シーリングせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)
・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)
・ せっこうラスボード	GB-L	9.5
・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 経目 ・ 板目) 専用下地材有り
● 化粧せっこうボード (3'539X2規格)	GB-D	9.5 (準不燃)

● 普通合板

表面の材種
生地、透明塗料塗り
(※7'539X2規格)
不透明塗料塗り
(※しな程度)
板面の品質 ()
厚さ (mm) ()
接着の程度 ()
・ 防火処理 ・ 難燃処理 ・ 防炎処理

・ 天然木化粧合板 [G]

樹種名 ()
接着の程度 (・1種・2種)
厚さ (mm) ()
・ 防火処理 ・ 難燃処理 ・ 防炎処理

・ 特殊加工化粧合板 [G]

化粧加工の方法 (・オーバーレイ・プリント・塗装)
表面性能 () タイプ
接着の程度 (・1種・2種)
厚さ (mm) ()
・ 防火処理 ・ 難燃処理 ・ 防炎処理

・ メラミン樹脂化粧合板
JIS K 6903 による (※1.2)

・ 繊維強化樹脂化粧合板

・ ミディウムテンシティファイバーボード [G]

MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12

・ 単板張りパーティクルボード [G]

・ 単板張り V N ・ 研磨板 V S
・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18

・ 化粧パーティクルボード [G]

・ 単板張り V N D V ・ プラスチック V N D O
・ 塗装 D C
・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)

・ ハードボード (黒地) [G]

HB ・ 赤研磨板 (・3'539X2) R N
・ 研磨板 (・3'539X2) R S

・ ハードボード (化粧) [G]

・ 内装用 D 1 ・ 外装用 D E
・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7

・ インシュレーションボード [G]

IB A級 (・天井仕上) ・ 内装仕上 ()
・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18

せっこうボード等の下地は図示による。
遮音シール材 ・ 適用する (・シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド)
・ 適用しない

合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放数量
※規制対象外
合板類の張付け ※B種・A種
せっこうボードの目地工法 ※継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目直し工法
ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外

● 壁紙張り 図示による (19.8.2.3)

施工箇所	壁紙の種類	防火種別	備考
	紙 織物 フリ 珪砂	その他	
	・	・	・ 不燃・準不燃
	・	・	・ 不燃・準不燃
	・	・	・ 不燃・準不燃
	・	・	・ 不燃・準不燃

モルタル、プラスチック面の素地ごしらえ ※B種・A種
コンクリート、ALC面の素地ごしらえ ※B種・A種
せっこうボード面の素地ごしらえ ※B種・A種

● 断熱・防露・ユニット及びその他の工事 (19.1.2)

断熱材のホルムアルデヒド放数量
※規制対象外

防湿材 種類 ※ JIS A 6930 ・ JIS Z 1702 ・ JIS K 6781
厚さ ・

気密材 種類 ・ JIS A 6930 ※ JIS A 6111
厚さ ・

防風材 種類 ※ JIS A 6111

防湿層 ※省略しない 省略する (19.1.4)

断熱構造とする部分に用いる床下及び小屋裏点検口 ・ 図示 ・ 断熱防湿タイプ

気流止め 材料 ・ 図示 (19.1.5)

天井断熱の場合の天井点検口 ・ 図示 ・ 断熱防湿タイプ

断熱材及び防湿材の気密措置 ・ 図示

● 高業系サイディング (19.3.2)

材料 ※ 図示
建具上部の雨水の排出路 ※ 図示
シーリング材の目地寸法 ※ 図示

● 複合金属サイディング (19.3.3)

材料 ※ 図示

● 階段止め (20.2.6)

材種 ステンレス製 (SUS304) (・埋込工法 ※接着工法)
端部フラットエンド ※有 (※タイヤと同材・ステンレス鋼) ・ 無形式
※ビルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り 幅 (mm) ※約 35

● 黒板及びホワイトボード (20.2.8)

※ホワイトボード ほうろう 形状・寸法は図示による
・ 黒板 ※焼き付け 色柄 ※線 形状・寸法は図示による

● 断熱・防露・ユニット及びその他の工事

● 壁 (20.2.9)

取付箇所 ・ 図示による ()
寸法 (mm) ・ 図示による ()
厚さ (mm) ※5

● 表示 (20.2.10)

・ 案内板 ・ 庁舎案内板 (※標準詳細図による ・ 図示による)
・ 各階案内板 (※標準詳細図による ・ 図示による)
・ 視覚障害者案内板 (※共通詳細図による ・ 図示による)
・ 室名札 ※標準詳細図による ・ 市販品
・ ピクトグラフ ※標準詳細図による
標準案内図用記号 ※ JIS Z 8210 による ・ 図示による
形状・その他 ※図示による
※標準詳細図による
・ 庁名文字 ※標準詳細図による
文字 (・ステンレス製・黄銅製) ・ 簡文字 (・ステンレス製・黄銅製)
字数 () 文字の大きさ (x)

・ 対人衝突防止表示 ・ 図示による
・ 非常用出入口 図示による
案内用図記号は JIS Z 8210 による

● ブラインド (20.2.12)

形式	構造ブラインド	縦型ブラインド (防炎性能を有するもの)
スラットの材質	アルミニウム合金製	・ アルミスラット・クロススラット
スラットの種類	※ギヤ式	※1本操作コード式
スラットの幅 (mm)	※25 ・ 35	・ 75以上 ・ 100

材質 遮光性能 ・ (20.2.13)

品質 操作方式 ・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式

● カーテン及びカーテンレール (20.2.14)

カーテン

施工箇所	きれ地の品質等 (製造所)	ひだの種類	開閉形式	カーテン操作方式
		・ 片引き ・ 引分		※手動 ・ 電動

カーテンレール及び付属金物

施工箇所	張きによる区分	材料による区分	仕上げ	形状	付属金物

織幕用は300mm以上の召し合せの重掛けとする

● 点検口

天井 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ※450×450 ・ 600×600
形式 一般型 外枠 ● 縦線タイプ ・ 目地タイプ
内枠 ・ 縦線タイプ ・ 目地タイプ

床 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ・ 450×450 ※600×600
形式 ※屋内用一般型 ・ 密閉形

材 種 ・ ステンレス製 (SUS 304)

● 旗竿金物

形式	材質	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)
・ 上下式屋内直式	・ 標準品 ・ スプリング式	・ ステンレス製	・

● 車止め支柱

● フェンス

フェンスの種類 ・ ビニル被覆エキスパンドフェンス
・ 樹脂被覆メッシュフェンス
・ 鋼管フェンス
・ アルミフェンス
高さ ・ 図示

● 舗装工事

● 路床 (22.2.3.5) [表22.2.2]

種 別	材 料	厚さ (mm)
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設廃材から再生した処理土 [G]	・ 図示
・ 遮断層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン [G] ・ クラッシュラン ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量10%以下)	・ 図示
・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75µmふるい通過量6%以下)	・ 図示

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種
・ フラッシュセメントB種
・ 生石灰 ()
添加量 kg (目標GRR) ・ 5以上 ()
・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m²以上
厚さ (mm) ・ 0.5~1.0
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上
透水係数 ・ 1.5WU/000710-1cm/sec以上

試験
砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固度の試験 ・ 行う ・ 行わない

● 路盤 (22.2.3.5)

路盤の厚さ ● 図示
路盤材料
● 再生クラッシュラン [G]
・ クラッシュラン鉄鋼スラグ [G]
・ 図示

試験
路盤締固度の試験 ※行う ・ 行わない

● アスファルト舗装 (22.2.4.2)

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示

材料
アスファルト ・ 再生アスファルト [G] ・ ストレートアスファルト
骨材 ・ 道用砕石
・ アスファルトコンクリート再生骨材 [G]

加熱アスファルト混合物等の種類

区分	地域	種類
表層	一般地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)
	寒冷地域	・ 密粒度アスファルト混合物 (13 F) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13 F)
基層	一般及び寒冷地域	・ 粗粒度アスファルト混合物 (20)

シールコートの施工 ・ 行う ・ 行わない

試験
アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度

TITLE ころれい多目的広場トイレ新築工事

NAME 木造特記仕様書03

SCALE

※

※

※

※

大山町役場
鳥取県西伯郡大山町末長500

CHECK

DRAWING

NO. A-03

内部仕上表													
階	室名	内装制限	床	巾木	腰壁		壁	天井	廻縁	天井高	天井点検口	室名札	備考
					H	H							
1階	倉庫	-	モルタル金ゴテ押え	薄塗モルタルt3.0	300	-	-	化粧石膏ボードt9.5	塩ビ	2400	1	-	造作家具(収納棚)
	床高		±0			土間コンクリート下地	-	耐水合板t12.0					
	通用口	-	エポキシ系塗床仕上げ	補修の上エポキシ系塗上げ	300	ステンレスt0.5貼り	-	化粧石膏ボードt9.5	塩ビ	2400	1	-	
	床高		±0			土間コンクリート下地	耐水合板t12.0	耐水合板t12.0					
	冷蔵庫	-	防水塗装	補修の上防水塗装塗上げ	300	-	-	-	-	2500 (プレハブ内)	-	-	プレハブ冷蔵庫
床高	-280		土間コンクリート下地			-	外壁ウラメンアラワシ	木下地					

■ 材料記号

RC 鉄筋コンクリート	M モルタル
LC 軽量コンクリート	LGS 軽量鉄骨
CB コンクリートブロック	GL 石こう系接着剤直貼工法
ALC 軽量気泡コンクリート板	W 木製
S スチール	VC 塩化ビニル
SUS ステンレス (特記なき限り304)	PB 石膏ボード
AL アルミニウム	

■ 防火認定番号

○ PBt12.5、t12	: 不燃	H12.建設省告示第1400号	繊維混入ケイカル板t8	: 不燃	H12.建設省告示第1400号
PBt9.5 (不燃)	: 不燃	NM-0441	グラスウール	: 不燃	H12.建設省告示第1400号
岩綿吸音板	: 不燃	NM-8599	不燃ペフ	: 不燃	NM-2939
不燃化粧PBt9.5	: 不燃	NM-1864	無機質クロス1級 (下地は不燃)	: 不燃	NM-9914
○ 塗料 (下地不燃)	: 不燃	NM-8585	無機質クロス	: 準不燃	QM-9564
○ 塗料 (下地準不燃)	: 準不燃	QM-9816			
○ 化粧ケイカル板t6	: 不燃	NM-4227			

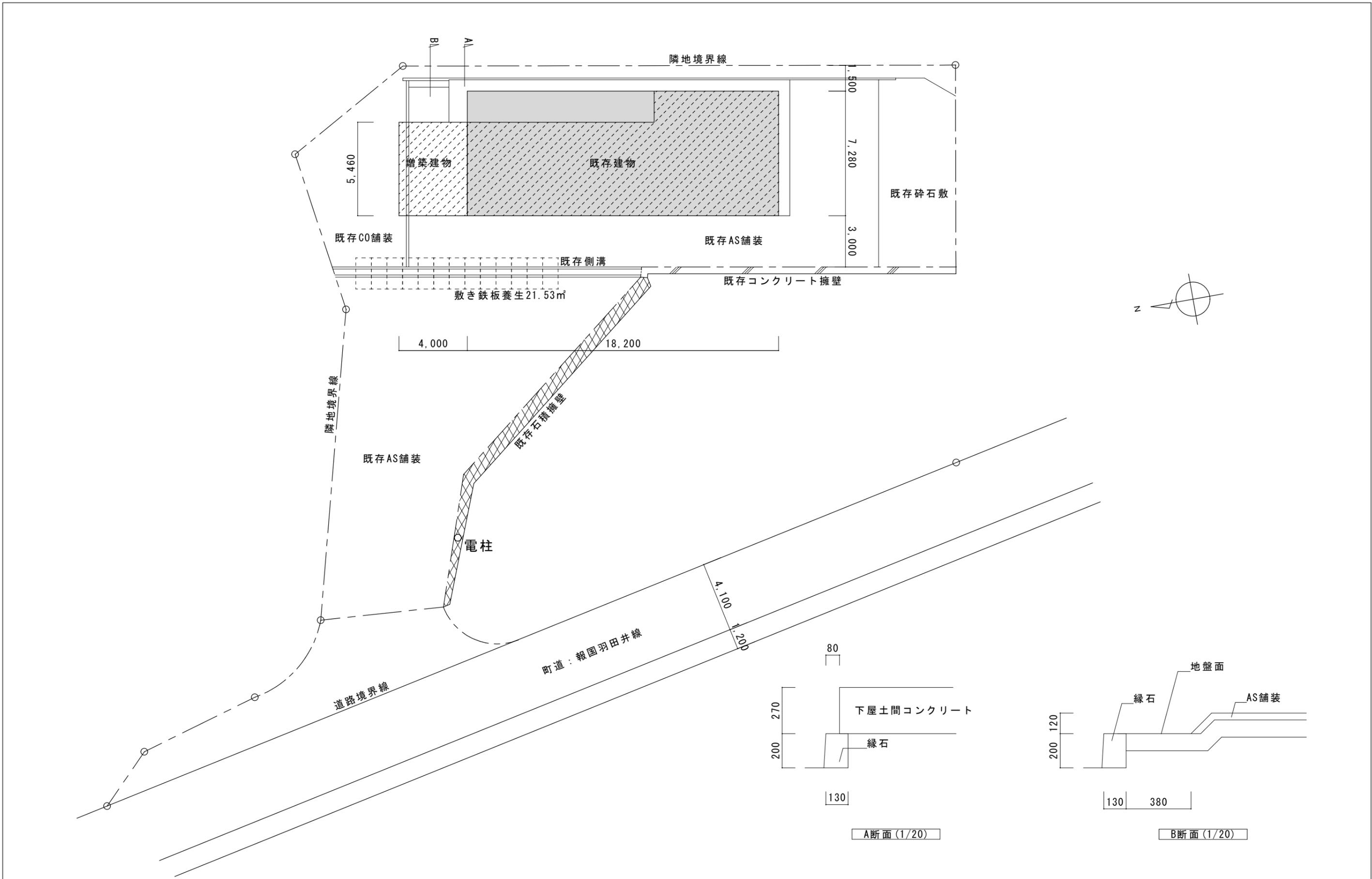
■ 内装制限 (壁及び天井面の下地、仕上)

⊕	: 下地共不燃材
⊖	: 不燃材
準	: 準不燃材
難	: 難燃材

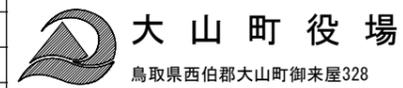
■ 特記事項

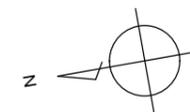
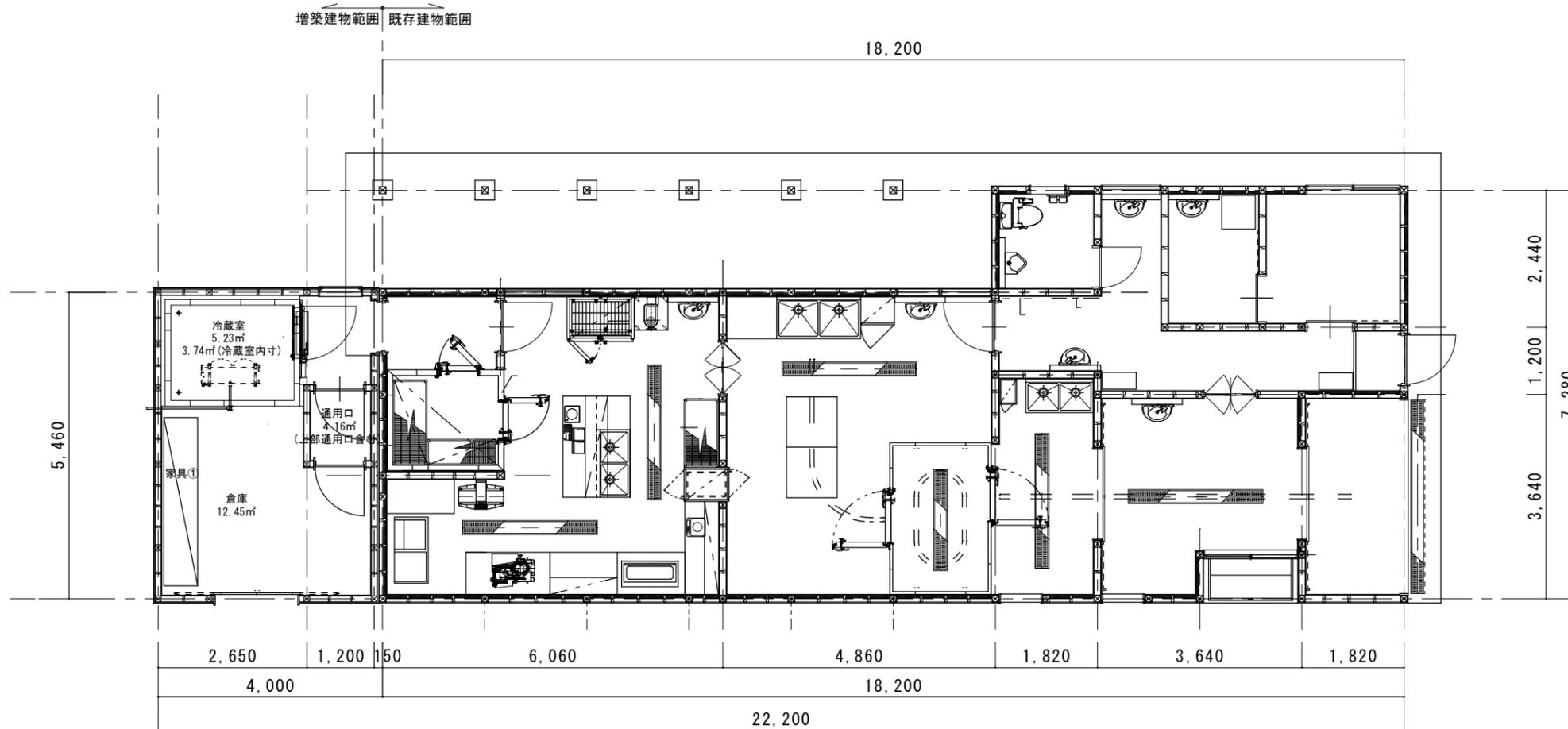
- 天井点検口はアルミ枠の天井仕上同材とする。特記なき限り450角。
 - カーテン、カーペット類は防炎加工品とする。
 - 特記なき限りSUSは304とする。
 - ボードの目透し部は専用テープ塗装とする。
 - 特記なき限りLGS間仕切は90型、外壁廻り・柱型廻りはLGS50型とする。
 - PBt9.5は全て不燃とし無機質クロスは全て1級 (下地不燃) とする。
- ※: 壁、天井裏の断熱材は改正後のJIS規格による「F4スター」の表示のあるJISマーク表示商品とする。
 ※: 使用する建材は、JIS規格による「F4スター」の表示のあるJISマーク表示商品とする。
 ※: 木製家具、木製建具等の材料は全て「F4スター」品を使用する。

TITLE	NAME	SCALE	※ ※ ※ ※	大山町役場 鳥取県西伯郡大山町御来屋328	CHECK	DRAWING	NO.
獣肉解体処理施設増築工事	仕上表	A3 -					A-04

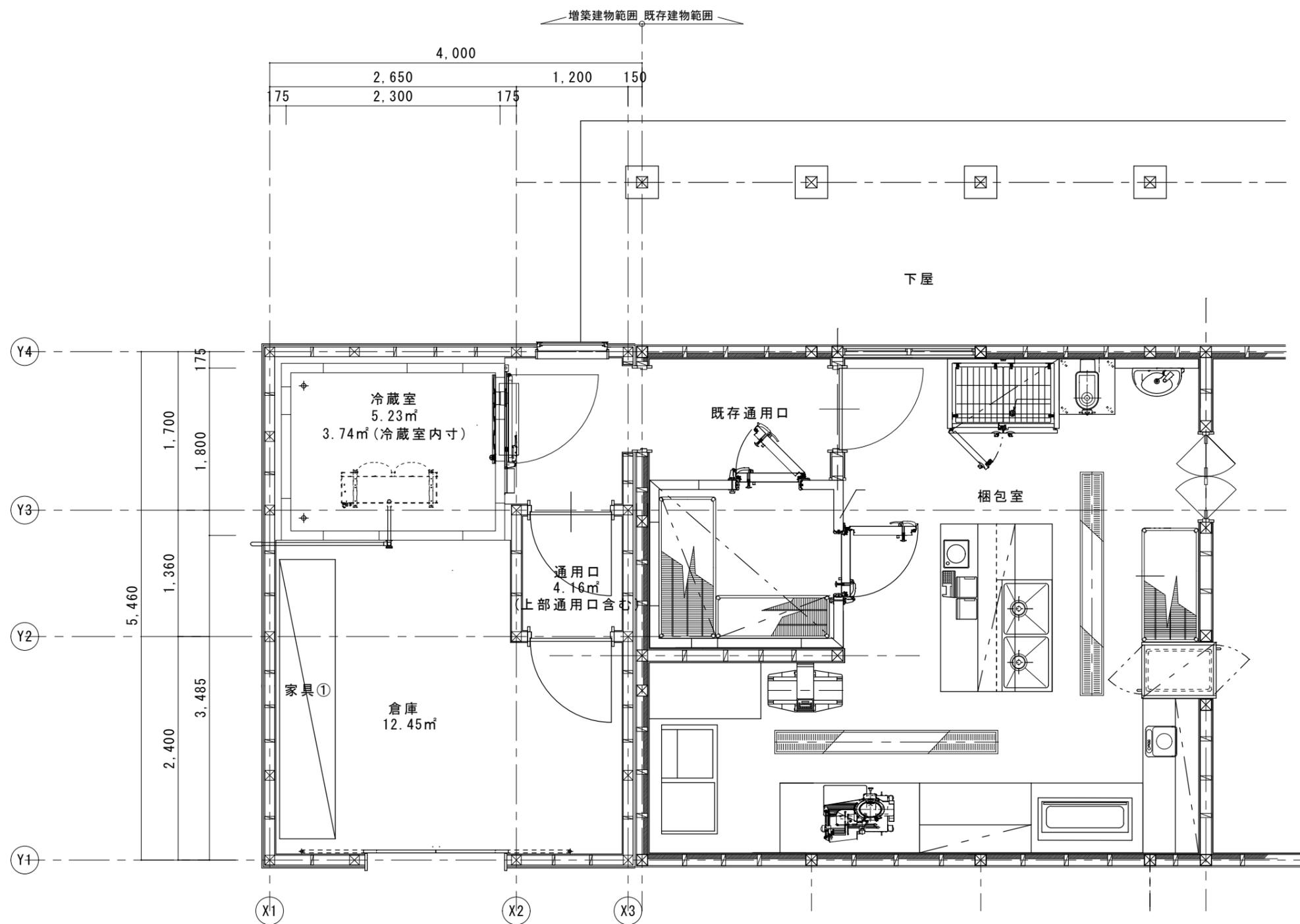


TITLE	NAME	SCALE	CHECK	DRAWING	NO.
獣肉解体処理施設増築工事	配置図	A3 1/200			A-05





<p>TITLE</p> <p>獣肉解体処理施設増築工事</p>	<p>NAME</p> <p>全体平面図</p>	<p>SCALE</p> <p>A3 1/100</p>	<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>	 <p>大山町役場</p> <p>鳥取県西伯郡大山町御来屋328</p>	<p>CHECK</p>	<p>DRAWING</p>	<p>NO.</p> <p>A-06</p>
----------------------------------	--------------------------	------------------------------	-------------------------------------	---	--------------	----------------	------------------------



TITLE

獣肉解体処理施設増築工事

NAME

増築平面図

SCALE

A3 1/50

※
※
※
※



大山町役場

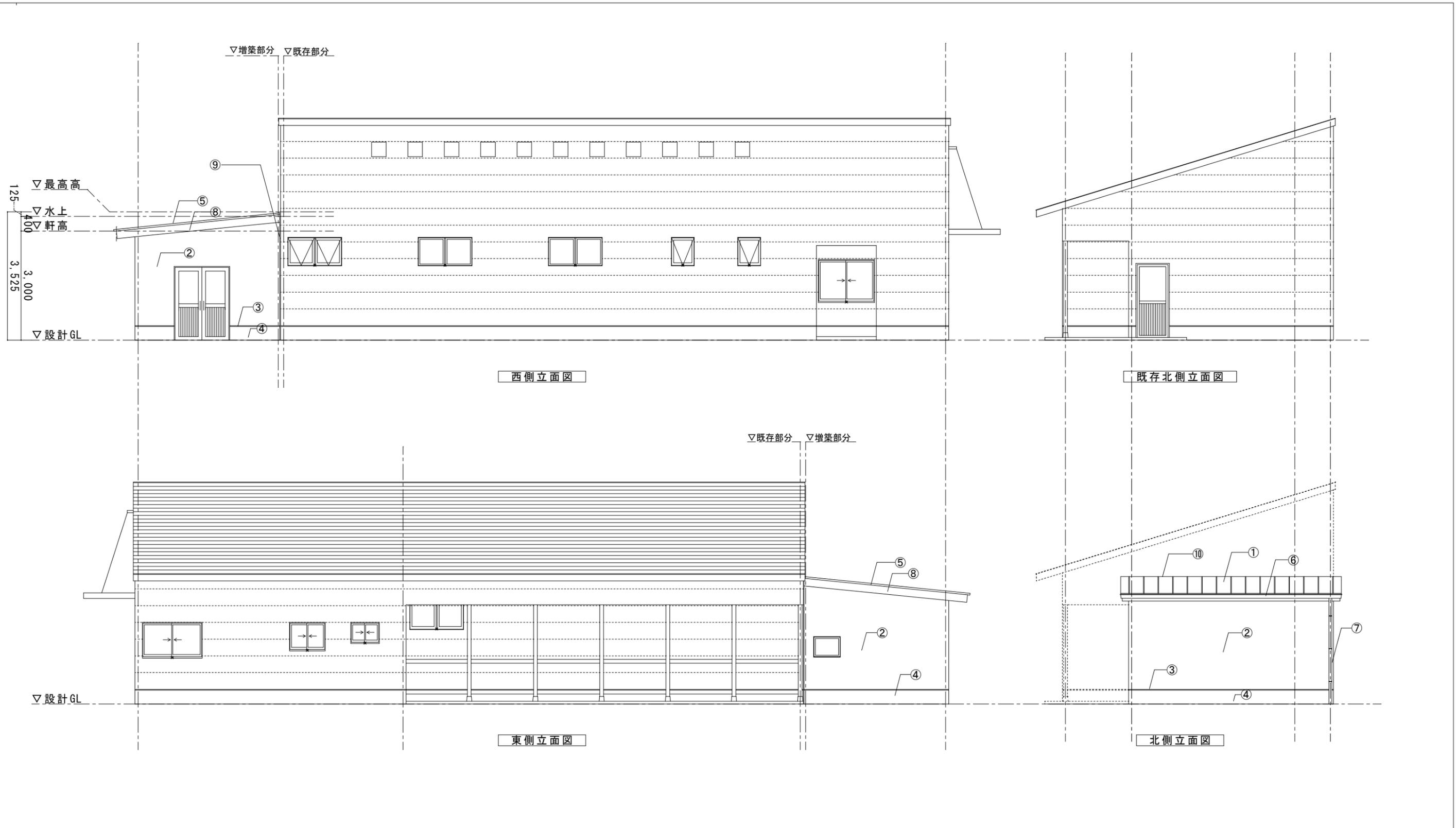
鳥取県西伯郡大山町御来屋328

CHECK

DRAWING

NO.

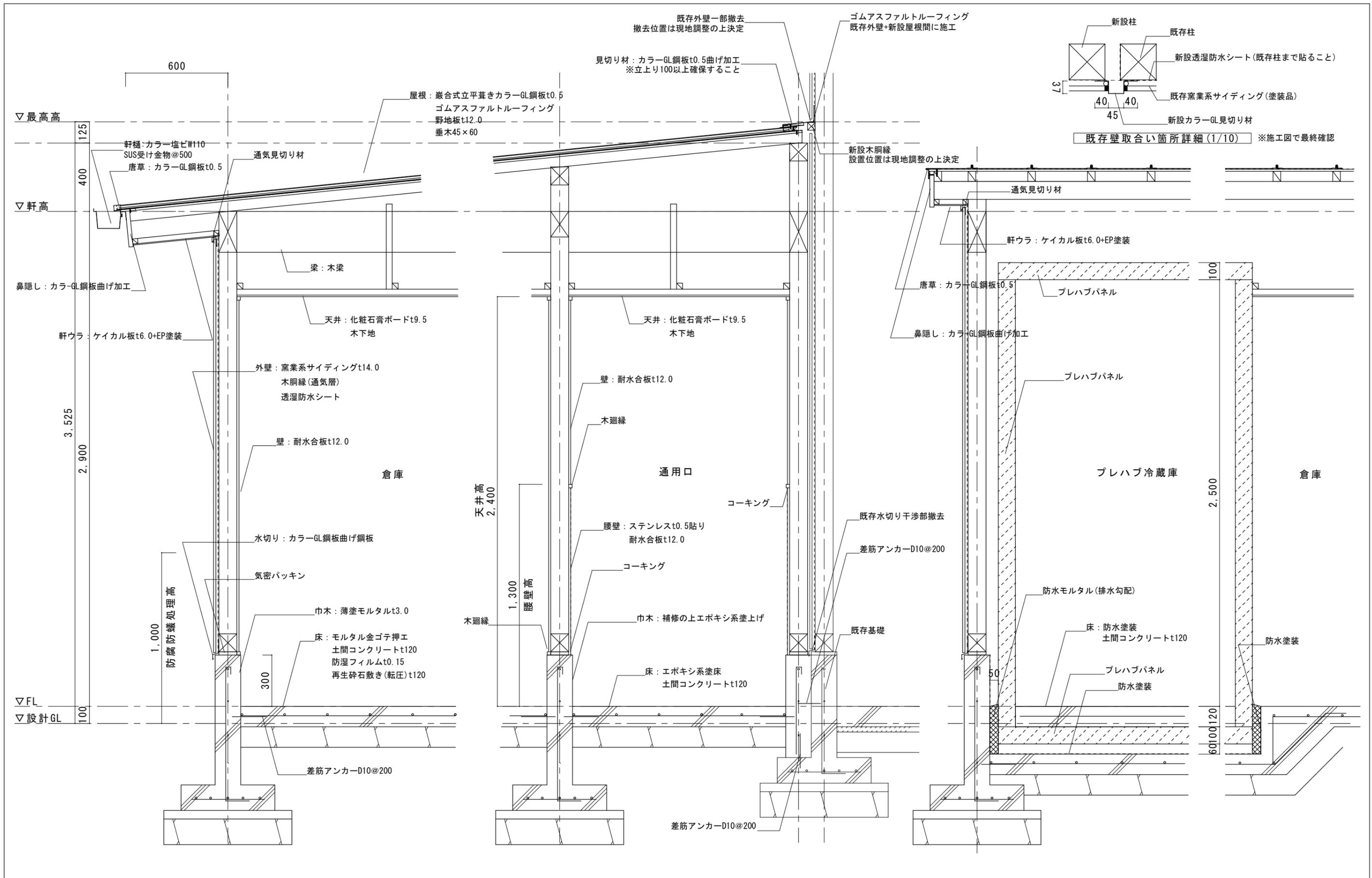
A-07



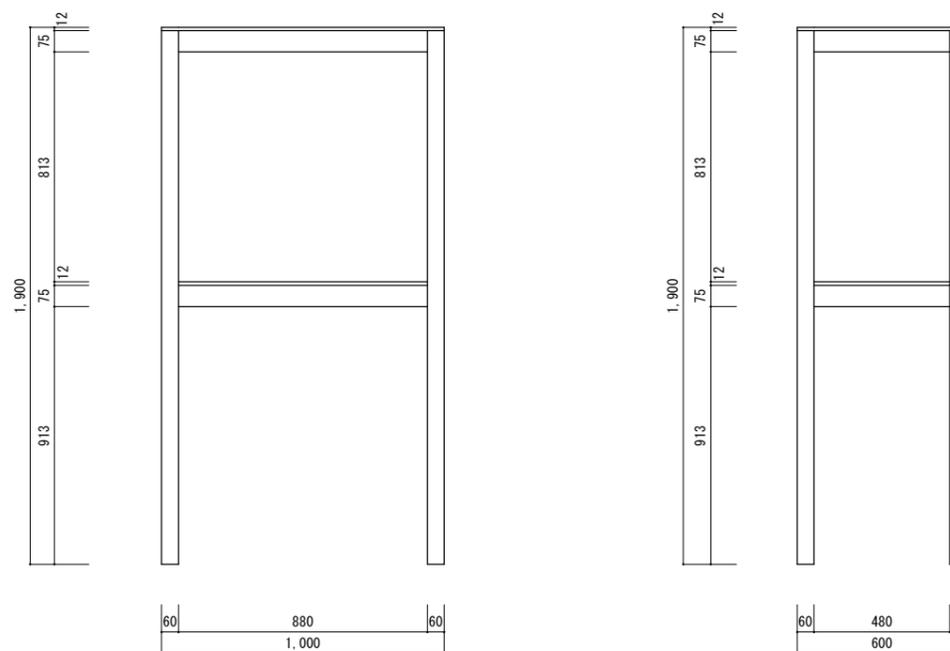
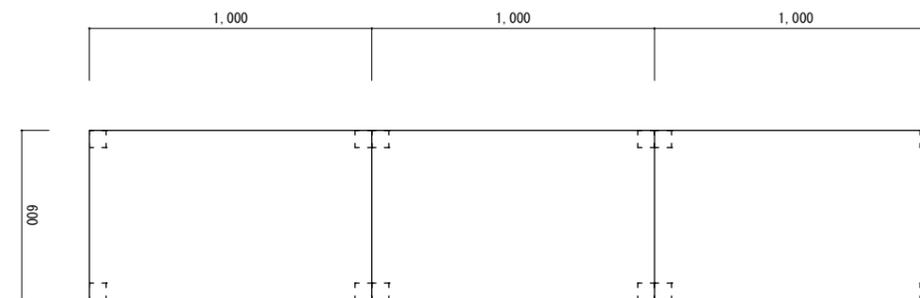
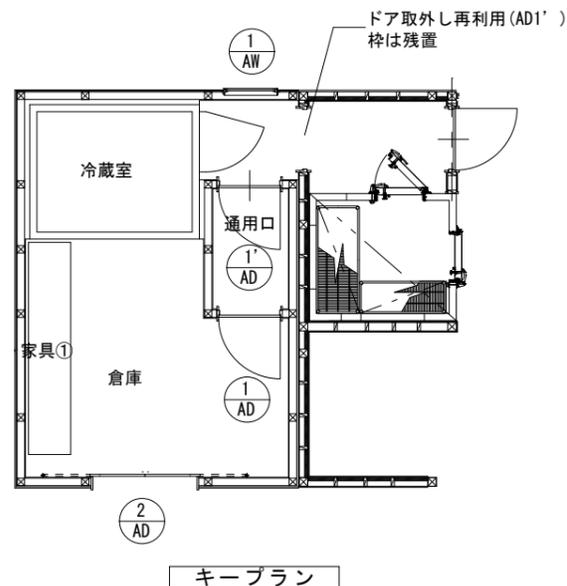
外部仕上げ表

① 屋根：嵌合式立平葺カラーGL鋼板t0.5+ゴムアスファルトルーフィング+野地板t12.0	⑥ 軒樋：カラー塩ビW110+SUS受け金物@500	⑪	⑮	⑯	⑰
② 外壁：窯業系サイディングt14.0(塗装品)+木胴縁+透湿防水シート	⑦ 縦樋：カラー塩ビVPΦ60+掴み金物@1000	⑫	⑱	⑳	
③ 水切り：カラーGL鋼板曲げ加工t0.5	⑧ 鼻隠し：カラーGL鋼板t0.5曲げ加工	⑬			
④ 立上り：モルタル補修	⑨ 壁+壁見切り材：カラーGL鋼板t0.5曲げ加工	⑭			
⑤ 唐草・唐草水切り：屋根同材	⑩ 屋根+壁見切り材：カラーGL鋼板t0.5曲げ加工	⑮			

TITLE 獣肉解体処理施設増築工事	NAME 立面図	SCALE A3 1/100	※ ※ ※ ※	 大山町役場 鳥取県西伯郡大山町末長500	CHECK	DRAWING	NO. A-08
-----------------------	-------------	-------------------	------------------	--	-------	---------	-------------



<p>TITLE</p> <p>獣肉解体処理施設増築工事</p>	<p>NAME</p> <p>矩計図</p>	<p>SCALE</p> <p>A3 1/20</p>	<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>	<p>CHECK</p> <p>DRAWING</p> <p>NO.</p> <p>大山町役場 鳥取県西伯郡大山町御来屋328 A-09</p>
----------------------------------	------------------------	-----------------------------	-------------------------------------	--



角材：60角
 棚板：ベニア板t12.0
 ※サイズは施工図により最終調整

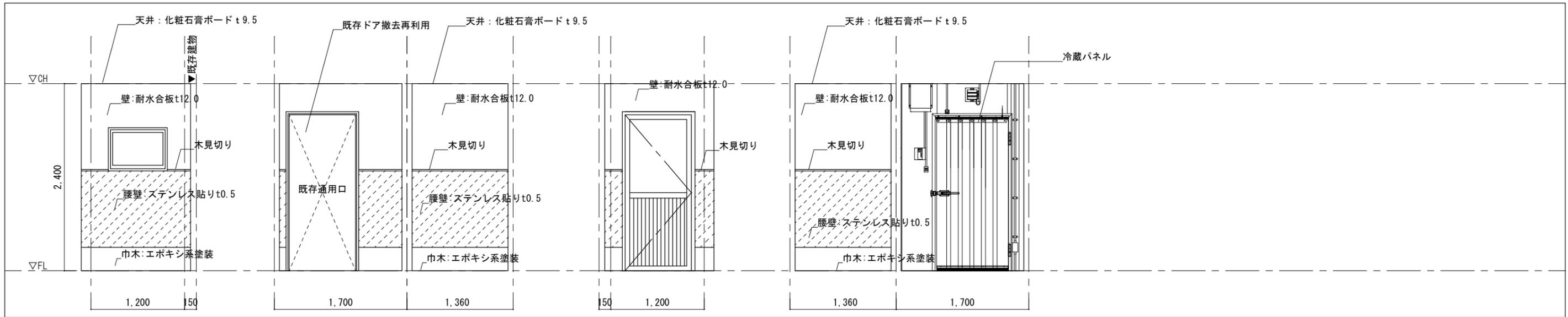
家具① (1/25)

符号	名称	1 AD	1' AD	2 AD	1 AW
		片開きドア	既存片開きドア (枠新設)	両引き分けドア	FIX窓
形状					
寸法		有効開口 850	有効開口 850	有効開口 1,475	有効開口 700
数量	場所	1 通用口	1 通用口	1 倉庫	1 通用口
材質	仕上	アルミ 電解着色	アルミ 電解着色	アルミ 電解着色	アルミ 電解着色
硝子	見込 (ア)	F t-4.0 70	F t-4.0 70	F t-4.0 70	F t-4.0 70
靴摺の材質及び形状		A-5	A-5		
金具		レバーハンドル・シリンダー錠 標準金物一式	レバーハンドル・シリンダー錠 標準金物一式	レバーハンドル・シリンダー錠 標準金物一式	レバーハンドル・シリンダー錠 標準金物一式
備考					

一般事項	1. 建具の材質と符号	2. ガラスの種類と符号	3. 靴摺の材質及び形状	4. 特記事項
1. 各建具寸法は全て枠内寸法を示す。	STD ステンレス製扉	STS ステンレス製シャッター	S 透明ガラス	1. 操作金物の高さ FL + (1,000) mm
2. 本表には造作家具の建具は含まない。	SD スチール製扉	SS スチール製シャッター	P 磨きガラス	2. マスターキー 要 . 不要 (既存マスターに合わせる)
3. ドアの開閉方向は平面図による。	LSD 軽量スチール製扉	STG ステンレス製ガラリ	F 型ガラス	3. ガラスシールは (防火 ビード又は一般ビード) とする
4. 24時間換気ルートにアンダーカットを設けること。(換気図確認)	AD アルミ製扉	SG スチール製ガラリ	FL フロートガラス	4. シリンダー錠のバックセットは () mm
	WD 木製扉	AG アルミ製ガラリ	TP 強化ガラス	5. 鍵収納箱 要 . 不要
	TD 強化ガラス扉	WG 木製ガラリ	L 合わせガラス	6. メーカー指定 有 . 無
	STW ステンレス製窓	F 襖	D 複層ガラス	7. アミ戸の網 サランネット . ステンレスネット
	SW スチール製窓	FD 戸襖		7. オペレーター高さFL+1300とする (施工時位置確認)
	AW アルミ製窓	S 紙障子		
	WW 木製窓	TB トイレブース		

TITLE	NAME	SCALE	CHECK	DRAWING	NO.
こうれい多目的広場トイレ新築工事	建具表・家具図	A3 1/100			A-10



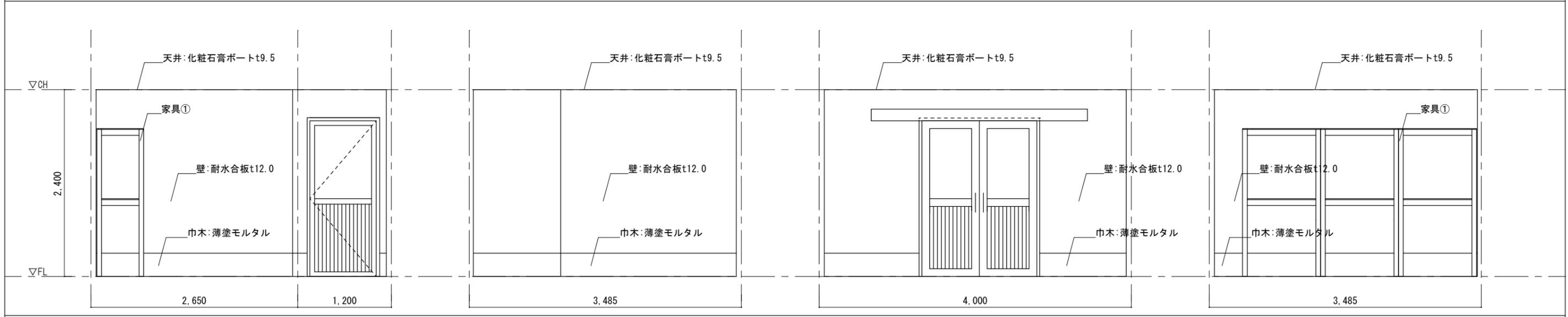


通用口A

通用口B

通用口C

通用口D

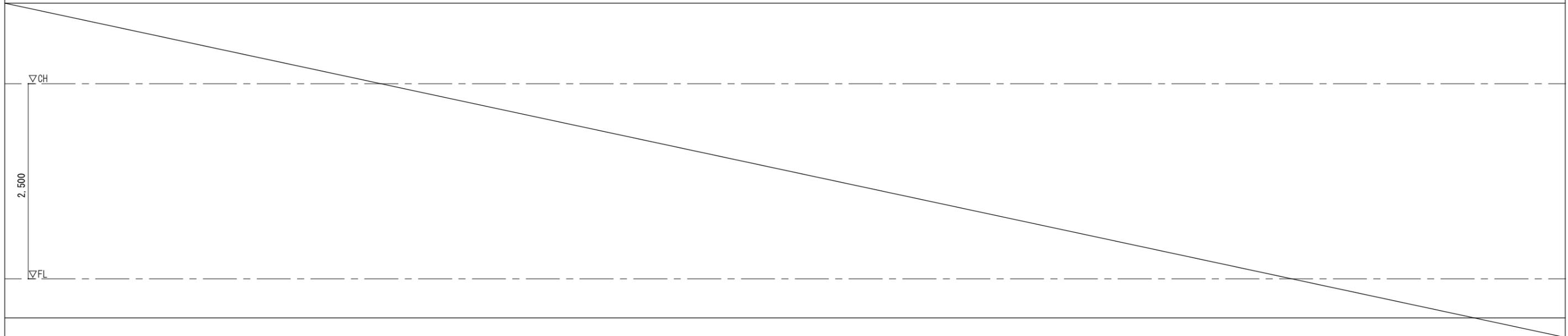


倉庫A

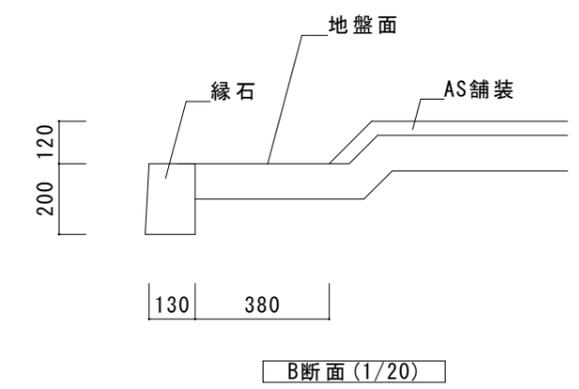
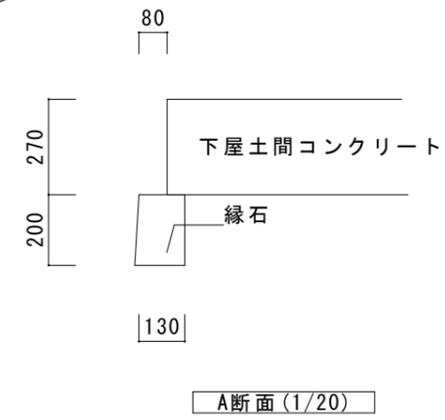
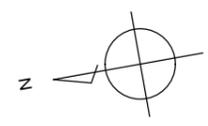
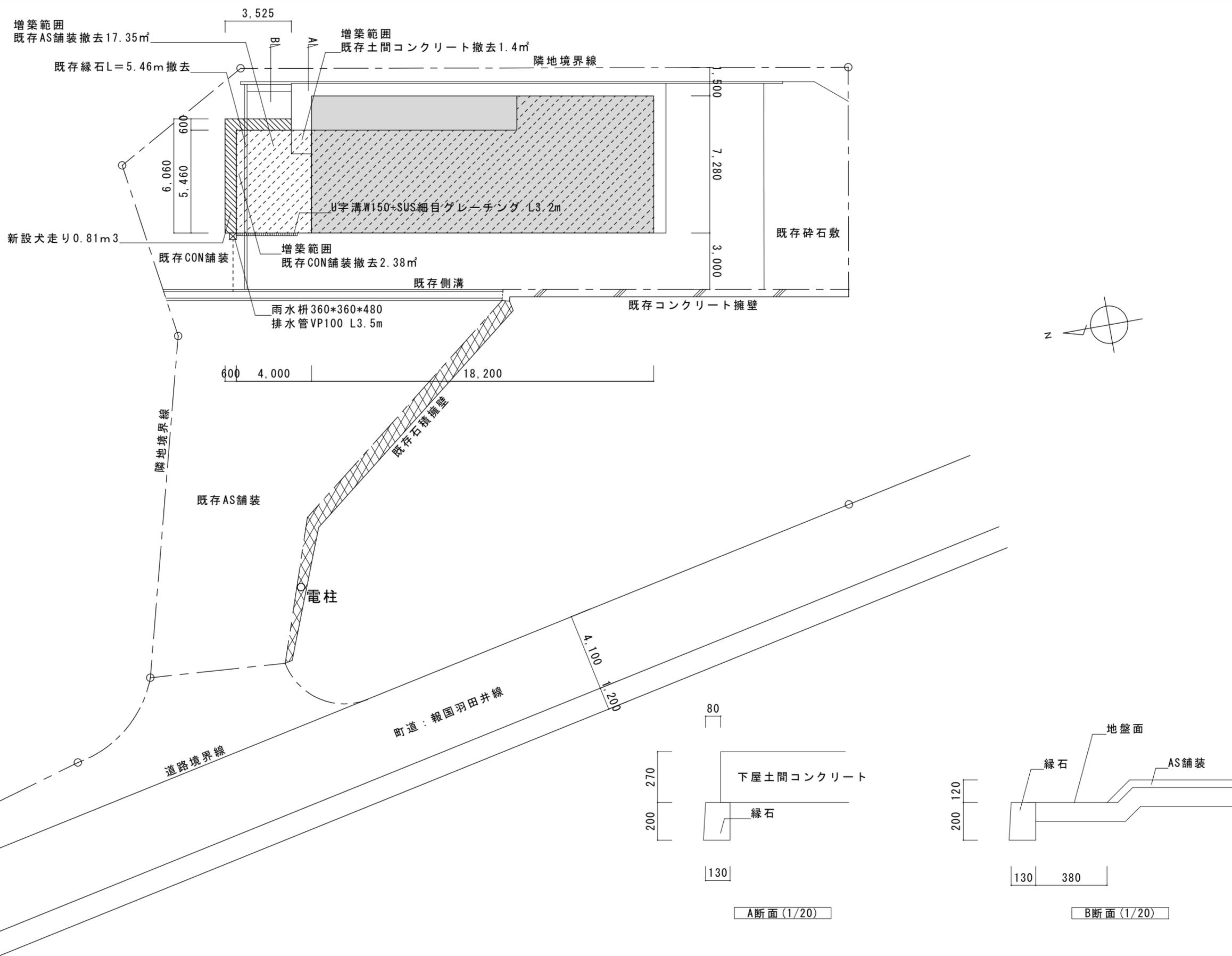
倉庫B

倉庫C

倉庫D



<p>TITLE</p> <p>こうれい多目的広場トイレ新築工事</p>	<p>NAME</p> <p>展開図</p>	<p>SCALE</p> <p>A3 1/50</p>	<p>※</p> <p>※</p> <p>※</p> <p>※</p>	 <p>大山町役場</p> <p>鳥取県西伯郡大山町末長500</p>	<p>CHECK</p>	<p>DRAWING</p>	<p>NO.</p> <p>A-11</p>
--------------------------------------	------------------------	-----------------------------	-------------------------------------	--	--------------	----------------	------------------------



TITLE	NAME	SCALE	CHECK	DRAWING	NO.
獣肉解体処理施設増築工事	外構図	A3 1/200			A-12



木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書（その1）

① 一般事項

(1) 適用範囲
本仕様書は、建築物及び工作物の構造上主要部分における木質構造工事に適用する。
○は、適用項目を示す。

(2) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承認を受ける。

(3) 施工図等の提出
工事に先立ち各種の施工図等を作成し、監督職員の承認を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。
プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

(4) 設計図書に基づき、工場の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有する工場を選定し、監督職員の承認を受ける。

(5) 各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験、検査結果ならびに施工記録を提出する。

② 材料の品質

2. 1 木質材料

(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材
本項の内容は特記なき限り、針葉樹の構造用製材及び広葉樹の製材及び枠組壁工法構造用製材等の日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	樹 種	区分、等級	含水率	その他
柱、梁、垂木、筋かい、火打	構造用製材	ベヤマツ		SD20又はD20	
土台	構造用製材	ヒノキ		SD20又はD20	
垂木	構造用製材	スギ			

- 記入無き梁桁、荷屋、垂木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種2級、見えない部分の木材は甲種3級とする。その他は乙種2級とする。
- 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
- 乾燥の際割れを行う。ただし、見えがかり部・相次ぎ部材・構造用合板の釘接合面には行わない。
- 含水率は平均含水率とし下地材等に用いる場合でも含水率D25以下であることを確認する。
- 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の部、目割れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように加工する。
- 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)
本項の内容は特記なき限り構造用集成材及び構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	樹 種	曲げヤング係数区分 水平せん断性能区分	材 面 品 質	接 着 性 能	647747 ¹⁾ 放 散 量
梁	構造用集成材			2種	環境 A 環境 C	F☆☆☆☆

(3) 構造用合板、構造用パネル
本項の内容は特記なき限り構造用合板及び構造用パネルの日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	強度 等級	曲げ性能基準 合板1級	板面 品質	接 着 耐 久 性	寸法 (mm) 厚 (巾×長)	647747 ¹⁾ 放 散 量
屋根	構造用合板	2級	—	C-D	特類	12mm	F☆☆☆☆

※ 構造用合板はできるだけ大きい寸法のものを用いる。

2. 2 ファスナー

ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等に錆を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。

標準めっき処理は、溶融亜鉛めっき：MFZn-0、電気めっき：EP-Fe/Zn 5/0K2とする。

(1) くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種 類	材 質	適 用 径	使用箇所 選部/胴部の形状
○ N釘	○ 鉄 ・ ステンレス鋼	N19 ~ N150	
○ CN釘 ・ BN釘 ・ ZN釘 ○ GN釘 ・ SN釘	○ 鉄	ON25 ~ ON150 BN25 ~ BN125 ZN45 ~ ZN90 GN25 ~ GN125 3.05mm	耐力壁、床版、屋根 せこうボード用 ケラフダ イソレーション材「ボード」
・ 木ネジ ・ 特殊ネジ ・ コースレッド	・ 軟鋼線材 ・ 真ちゅう		

(2) ボルト、ナット

種 類	材 質	適 用 径	表面処理、部品等級など
・ 呼び径六角ボルト ・ 有効径六角ボルト ・ 全ネジ六角ボルト ・ ステンレスボルト ○ アンカーボルト	・ SS400 ・ SS400 ・ SS400 ・ SUS304 ○ SS400	M3 ~ M36 M19 ~ M150 M19 ~ M150 M19 ~ M150 M19 ~ M150	・ 電気めっき

※ 材質は鋼、ステンレス鋼、非金属。径と長さの組み合わせは「JIS B 1180」参照。

(3) 座金

適 用	材 質	適 用 径	形状・表面処理	その他
○ 座金	・ SPOC (JIS G 3131) ・ SPHC (JIS G 3141)	○ M8 ~ M24	○ 角座金 ○ 丸座金	・ 電気めっき

※ 座金は用途ごと（引張、せん断）に下表により使い分ける。

ボルト径に対する座金の大きさ	8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ 4.5 角座金の一辺 40 丸座金の直径 45	4.5 50 60	6 60 70	9 80 90	9 105 120	13 125 140
せん断を受けるボルト	厚さ 3.2 角座金の一辺 25 丸座金の直径 30	3.2 30 35	3.2 35 40	4.5 50 60	6 60 70	6 70 80

(4) ドリフトピン、ラグスクリュー、ジベル、シアプレート、木栓

種 類	材 質	適 用 径・長さ	表面処理、その他
・ ドリフトピン (寸胴)	・ SS400 SFRM8 ~ 12	φ9 ~ φ19	・ 電気めっき
・ ドリフトピン (金ネジ)	・ SS400 SFRM8 ~ 12	φ16 ~ φ24	・ 電気めっき
・ ラグスクリュー (コーチスクリューボルト)	・ SWRCH10R (JIS G 3507)	φ9 ~ φ19	・ 電気めっき
・ スプリットリング	・ SS400	φ64、φ102	
・ シアプレート	・		・ 電気めっき
・ 木栓	・ 堅木	M12 ~ M14	

※ 木栓はテラ・ケヤキ・カン等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点の無いものとする。

(5) 接合金物、鋼材

種 別	材 質	表面処理	適 用、形状、その他
○ Zマーク	・		
・ Cマーク	・		
○ 引寄せ金物	・		
○ その他の金物	・		
○ 鋼材	・ SS400		形状は接合詳細図による。

(6) 接着剤 (接着接合)
ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

③ 材料品質の検査方法

現場又は加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、監督職員に報告する。また、監督職員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜き取り検査を実施する。社内検査で試験本数や採取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行うこと。

(1) 針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

部 材	確認する 仕 様	確認者	材質、等級 含水率	外観 検査	寸法 検査	含水率測定		ヤング係数測定		
						全乾重 量法	含水率 計	表示	静的 試験	動的 試験
柱、梁、 筋かい、火打	ベヤマツ E110 SD20	社 内 監督職員	○							
土 台	ヒノキ E90 SD20	社 内 監督職員	○							
材	ス ギ E70 SD20	社 内 監督職員	○							

※ 監督職員欄の○は立会い検査が必要であることを示す。
※ 材質・等級は日本農林規格 (JAS) 表示の確認を原則とし、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。

(2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)

材 料	確認項目	確認方法
構造用 集成材	部材、断面、長さ、数量 樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	・ 製造工場の認定書等の 写し ・ 日本農林規格 (JAS) 表示の確認 ・ 立会い目視検査
構造用 LVL	部材、断面、長さ、数量 樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	
構造用 合 板	寸法、数量 強度、曲げ性能、板面の品質、接着耐久性、ホルムアルデヒド放散量	
構造用 パネル	寸法、数量 強度、ホルムアルデヒド放散量	

(3) ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認方法
○ くぎ ・ 木ネジ類	○ 材質、鋼・鋼径部、長さ、仕上げ ・ 材質、径、長さ、仕上げ	・ ミルシートの写し ・ 表示の確認
○ ボルト、ナット	○ 材質、径、長さ、仕上げ	・ 木栓曲げ強度
○ 座金	○ 材質、径、仕上げ	
○ ドリフトピン	○ 材質、径、長さ、仕上げ ・ コーチスクリューボルト ・ スプリットリング	
・ シアプレート	○ 材質、径、形状、仕上げ	
・ 木栓など	○ 樹種、曲げ強度、比重	

※ 設計図書に記載されたファスナーであることを確認する。
同等性能のファスナーを用いる場合には、監督職員に承認を得ること。また、必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

(4) 接合金物

接合金物	確認項目	確認方法
○ Zマーク金物 ・ Cマーク金物	○ 材質、形状、仕上げ ・ 材質、形状、仕上げ	・ ミルシートの写し ・ 表示の確認
○ 引寄せ金物	○ 材質、形状、仕上げ	
○ その他の金物	○ 材質、形状、仕上げ、製造所	
○ 鋼材	○ 材質、形状、仕上げ、溶接	

※ 設計図書に記載された接合金物であることを確認する。
同等認定品や性能認定品を用いる場合は、監督職員に承認を得ること。

④ 耐久性 (防腐・防蟻・耐候処理)

(1) 木材の防腐・防蟻処理

- 高耐久材の使用 (注：製材の心材あるいは心持ち材又は集成材)
- 工場処理材 (注：現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる)
JAS保存処理剤： ・ K5 ・ K4 ○ K3 ・ K2
AQ認定保存処理材： ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種
- 現場処理 (注：給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する。)
・ 塗布 ・ 吹付 ・ 浸透 (処理量 300ml/m²、処理回数 2回)
(日本しろあり対策協議会または日本木材保存協会の認定品とする)

使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理材
土台	○ ヒノキ	○ K3	・
外周柱下部 1m	・	・ K3	○ 塗布
水廻り	・	・ K3	・
その他	・	・ K4	・

(2) 土壌処理

- 防蟻薬剤による処理：薬剤 ()
特記なき場合は、日本しろあり対策協議会または日本木材保存協会の認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
- 防腐薬剤による処理と同等以上の対策 ()

注：処理範囲は、外周部基礎の内側、内部部基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協議会の標準仕様書に準じる。

(3) 耐候処理 (塗装)

- 塗膜型 ・ 浸透型 ・ 部位 ()

⑤ 木材の加工

(1) 刻み手の注意
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

(2) 加工寸法の精度 (下記の値を標準とする)

- 構造用製材、枠組壁工法用構造用製材の断面寸法
 - 断面表示が挽き立て寸法の場合： ±1.5mm以下
 - 断面表示が仕上げ寸法の場合： +1.5mm、-0mm以下
- 構造用製材、枠組壁工法構造用製材の材長
 - 軸組工法の継手仕口の場合： ±1.5mm以下
 - ボルト接合法の場合： ±5mm以下
- ・ 集成材、構造用単板積層材
 - 短辺： ・ ±1.5mm以下
 - 長辺： ・ ±1.5%かつ±5mm以下
 - 材長： ・ ±5mm以下
- ボルト穴径： d + 2.0mm (dはボルト径)
- ・ ドリフトピンの穴径： d ± 0mm (dはボルト径)

(3) 表面の仕上げ (表6.4.3) (表6.4.2) (表6.4.3) (表6.4.4)

- ・ 集成材： ・ A種 ※ B種
- 製材： ・ A種 ・ B種 ・ C種
- 木材保護塗料塗布： ・

(4) 面取り

- ・ 柱： (3) mm
- ・ 梁： (3) mm

6. 接合金物 (製作金物) 加工

(1) 接合金物の寸法精度

- 製金の寸法精度
 - ※ 幅、長さは、製作図寸法の±2mm以内
- ボルト、ドリフトピンおよびラグボルトの孔径
 - 中ボルト d + 2.0mm ○ ドリフトピン d + 1.0mm ・ ラグスクリュー d + 2.0mm
 - ・ 高力ボルト d + 2.0mm ○ アンカーボルト d + 5.0mm
- 孔あけ許容寸法
 - 孔芯ずれ ±1.0mm以内 ○ 孔間隔のずれ ±1.0mm以内

(2) 接合金物の溶接作業における技能資格者 (以下、「溶接技能者」という。)

- 溶接技能者は下記の技術を要するもので、技能証明書、その他必要な書類を監督職員に提出して承認を受けたものとする。
 - ・ 手溶接 JIS Z 3801 (溶接技術検定における試験方法及び判定基準)
 - ・ 半自動溶接 JIS Z 3841 (半自動溶接技術検定試験における試験方法及び判断基準)
- 溶接技能者の技能に疑いを生じた場合は、工事に相応した試験を行い、その適否を判定し、監督職員の承認を受ける。

(3) 接合金物の防錆処理

- ・ 製作金物の防錆処理は JIS K 5625 2種または JIS K 5674 1種の1回塗りとする。

⑦ 接合

(1) 仕口、継手の原則

- ※ 仕口、継手の方法は構造図による。一般的な適用慣例については、9. 軸組工法接合部標準仕様書による。
- ※ 採用する方法は監督職員の承認を得る。
- ※ 仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き掛けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引張り抵抗を有する補強部材を併用する。

(2) 釘接合

- ※ 釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、継距離、釘間隔を大きく取る。
- ※ 釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。
- ※ 1箇所での釘の本数は2本以上とする。
- ※ 釘を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。
- ※ 自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのため、釘打ち機の圧力を弱め、最後は手打ちを用いるなどの方法による。
- ※ 構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。
- ※ 構造耐力上主要部分において、釘を引抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ※ 小口面に打られた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。

(3) 木ネジ接合

- ※ 構造耐力上主要部分において、木ネジを引抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ※ 小口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。
- ※ 木ネジの先孔の径：針葉樹…主材 0.6d、側材 0.8d (dはボルト径)
：広葉樹…主材 0.8d、側材 1.0d (dはボルト径)
(先孔の深さは、主材のねじ込み深さの2/3程度とする。)
- ※ ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んでならない。
- ※ ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。

(4) ボルト接合

- ※ 締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工図に適合しているものであることを確認する。
- ※ ボルト接合部付近に節、目割れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。
- ※ ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。
- ※ 締め付けを完了したボルトは、ネジ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。
- ※ 一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

(5) ラグスクリュー (コーチスクリュー) 接合

- ※ 構造耐力上主要部分において、ラグスクリュー (コーチスクリュー) を引抜き方向に抵抗させることは避ける。
- ※ ラグスクリュー (コーチスクリュー) の配置間隔は、継距離及び端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準ずる。
- ※ 胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。
- ※ ネジ部の先孔の径：比重 0.4以上の樹種…ネジ径の60～70%
：その他の樹種…ネジ径の40～70%
(長さはネジ部の長さと同寸とする。)
- ※ ラグスクリュー (コーチスクリュー) は先孔にレンチなどで回しなが挿入し、ハンマーなどで打ち込んでならない。
- ※ ねじ込みを容易にするため、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。

(6) ドリフトピン接合

- ※ ボルトやラグスクリュー (コーチスクリュー) 等を併用し、ドリフトピンの変形に伴う部材の割れを防止する。
- ※ ドリフトピンは孔に密着させる。
- ※ 一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

(7) ジベル接合

- ※ 木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、節込み・打込みまたは圧入に際しては割れを生じないように、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。
- ※ 接合材は十分に圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

(8) 既成金物の接合

- ※ 羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かみ折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合面材の間に密着するよう締め付ける。

(9) 接着接合

- ※ 接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
- ※ 接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実際によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。

(10) その他の方法による接合

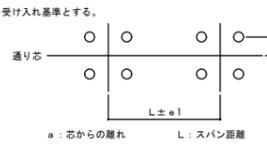
- ※ 使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監督職員の承認を得る。

TITLE	NAME	SCALE	※	CHECK	DRAWING	NO.
獣肉解体処理施設増築工事	木造補足特記仕様書その1	1/100	※			A-13

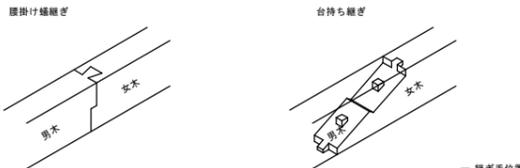
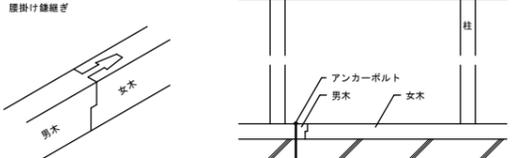
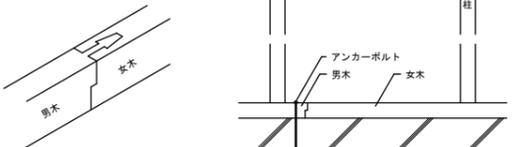
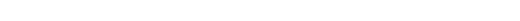


木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書 (その2)

5 運搬・建て方

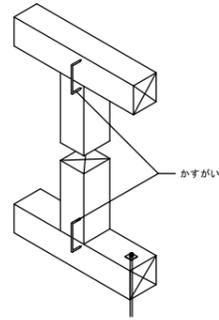
- (1) 輸送計画
部材の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。
また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
・輸送計画書の提出 ()
- (2) 集積・保管
集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。
降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。
・集積場の確認 ()
- (3) 建方計画
・建方計画書の提出
アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕付け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。
- (4) 施工時の安全性
建方作業中および作業後、構架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監督職員の承認を受ける。
また、強風などによる外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。
・施工時の安全性に対する検討書の提出 ・施工時作業条件の通知
- (5) アンカーボルトの施工
※ 芯出しは、型板を用いて基準差に正しく合わせて適切な機器等で正確に行う。
※ アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補強材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
※ アンカーボルトはダブルナットとする。 ・適用除外 ()
※ 土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
通り芯からの誤差 : ±3mm以下
※ 柱脚部に接合金物 (製作金物) を使用する部位については下記の数値を受け入れ基準とする。
・柱据え付け面: 基準高さからの誤差 ±2mm以下
・柱間接合中心距離の誤差e1 ±2mm以下
・通り芯からの誤差e2 ±2mm以下
- 
- (6) 建方精度
建方精度基準は下記による。
・建物の傾れ : $e \leq H/1,000$ ()
・梁の水平度 (断面間のレベル差) : $e \leq L/1,000$ ()
・建物のわん曲 ()
・柱据え付け面の高さ及び位置
柱据え付け面の基準高さからの誤差 : ±2mm以下 ()
通り芯からの誤差 : ±2mm以下 ()
間高 : $-5mm \leq H \leq +5mm$ ()
※ 建方精度に不具合が発生した場合は、速やかに監督職員に報告し、対応策を協議する。
- (7) 施工状況の検査
アンカーボルト施工時の立会い検査
・目視による精度確認 ・計測機器による精度確認 ・アンカーボルト径、間隔 ・施工者自主検査記録の提出 ()
地組み時の立会い検査
・目視による精度確認 ・計測機器による精度確認 ・材料の加工寸法検査 ・施工者自主検査記録の提出 ()
建方後の施工状況の検査
・防蟻・防蟻処理 ・材料の加工寸法検査 ・ファスナーの施工状況 ・接合金物の施工状況
・施工者自主検査記録の提出 () ・その他 ()
最終確認
工事中に発生するボルトの締め、ファスナー及び接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。
補強の必要がある場合は速やかに監督職員に報告し対応策を協議する。
・施工者自主検査記録の提出 ()

6 軸組構法接合部の標準仕様

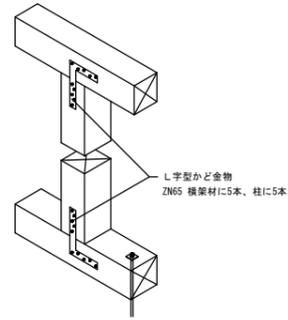
- (1) 構架材同士の継手
1. 曲げ応力や引張力を負担しない継手: 腰掛け継ぎ
せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。
長期積重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
逆せん断力と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期積重の反曲点付近とする。
- 
- 腰掛け継ぎ 台持ち継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
- 
- 腰掛け継ぎ
-
- 腰掛け継ぎ</

木工事・軸組構法工事 補足特記仕様書（その3）

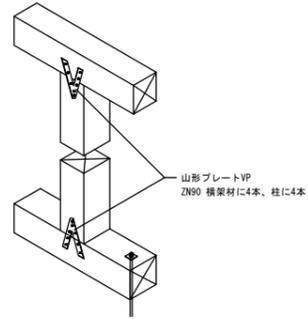
2. (イ) かすがい・短ほぞ差し



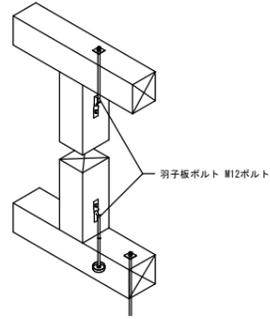
3. (ろ) L字型かど金物・長ほぞ差し込み柱打ち



4. (は) 山形プレート

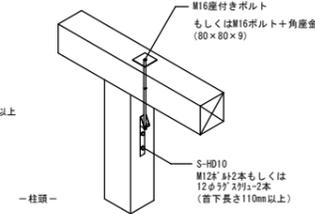
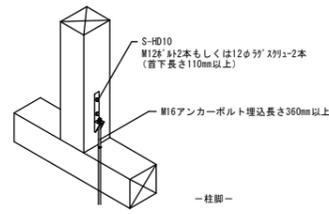


5. (に) 羽子板ボルト

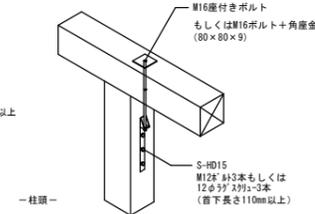
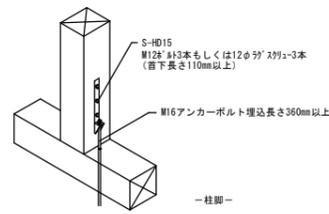


※(保) 羽子板ボルト+スクリュー釘の場合は
長さ50mm径4.5mmのスクリュー釘を1本追加すること

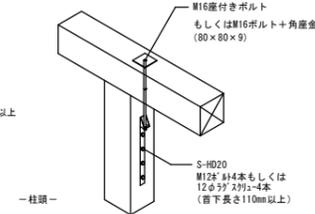
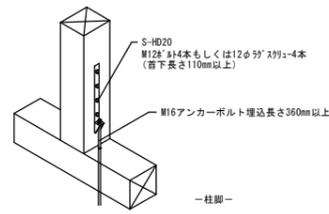
6. (へ) 10kNホールダウン・引寄せ金物



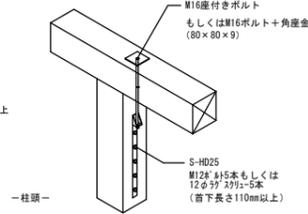
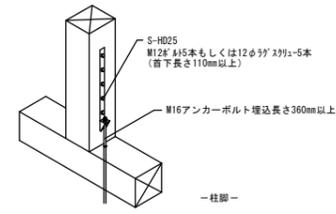
7. (と) 15kNホールダウン・引寄せ金物



8. (ち) 20kNホールダウン・引寄せ金物



9. (リ) 25kNホールダウン・引き寄せ引寄せ金物



TITLE

獣肉解体処理施設増築工事

NAME

木造補足特記仕様書その3

SCALE

※
※
※
※

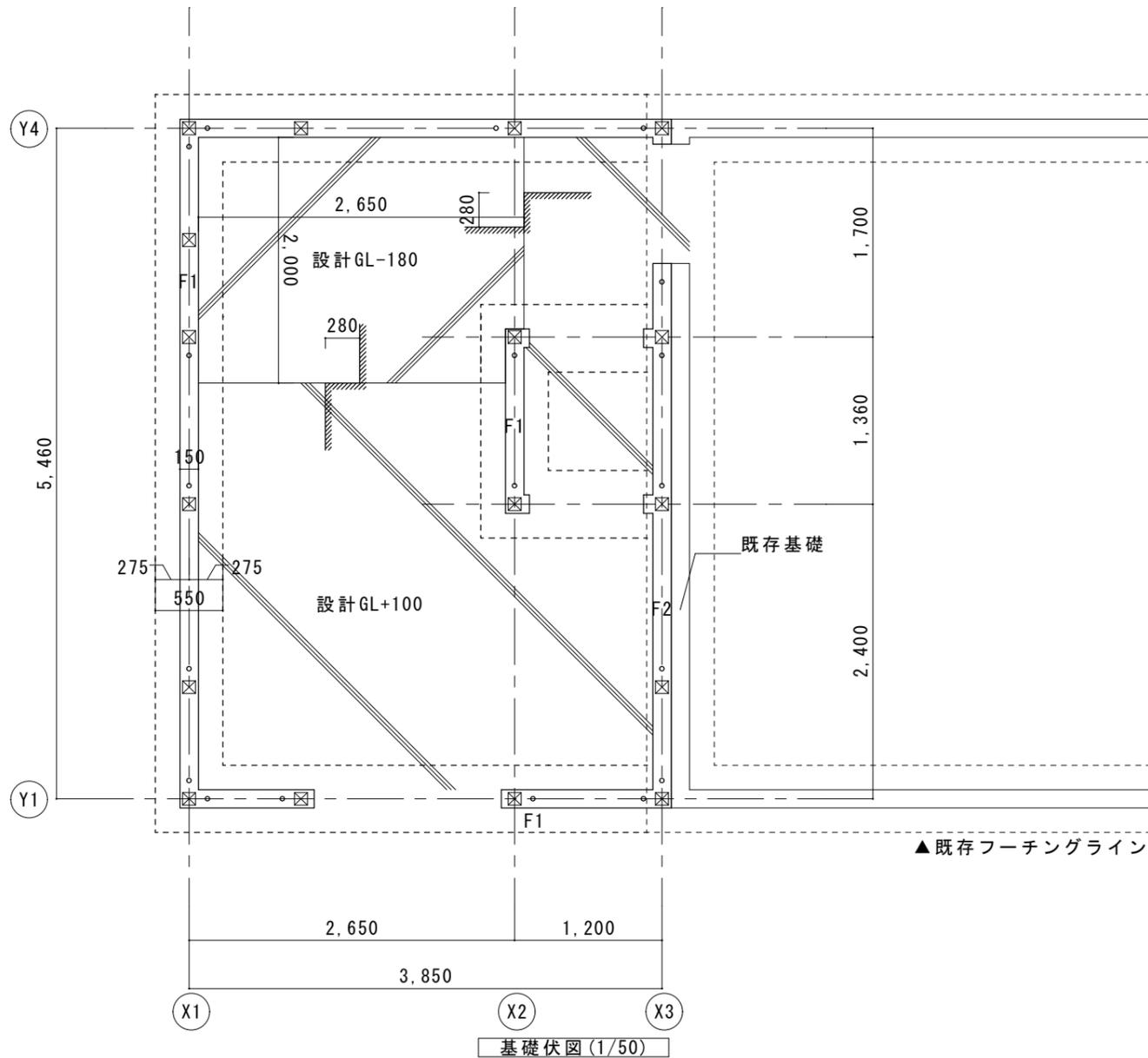


CHECK

DRAWING

NO.

A-15



基礎伏図 (1/50)

特記事項

【コンクリート】

基礎・土間 $f_c 21 \text{ N/mm}^2$ (設計基準強度) スランプ 18cm

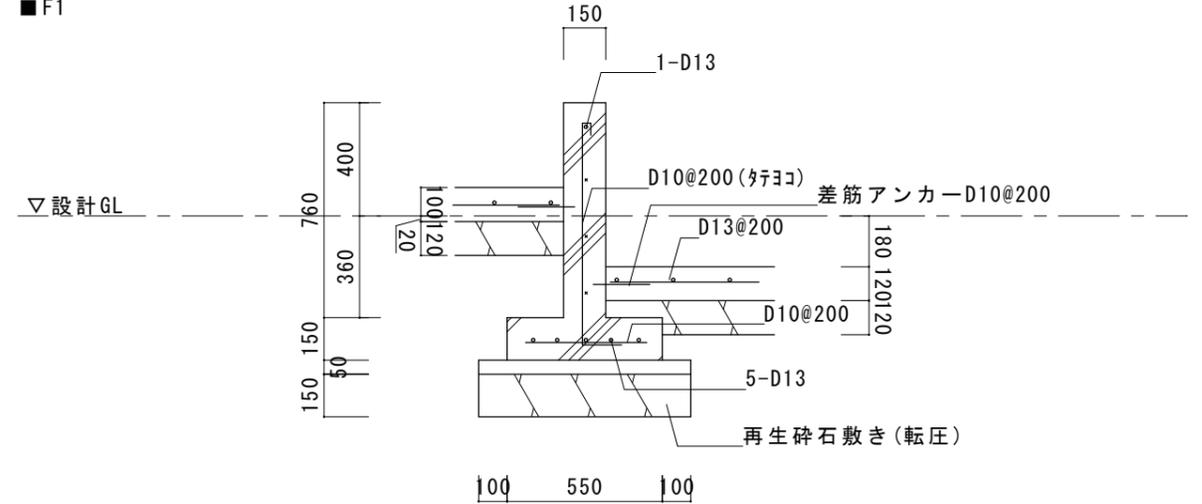
【鉄筋】

D10~D13 (SD295A) 重ね継手

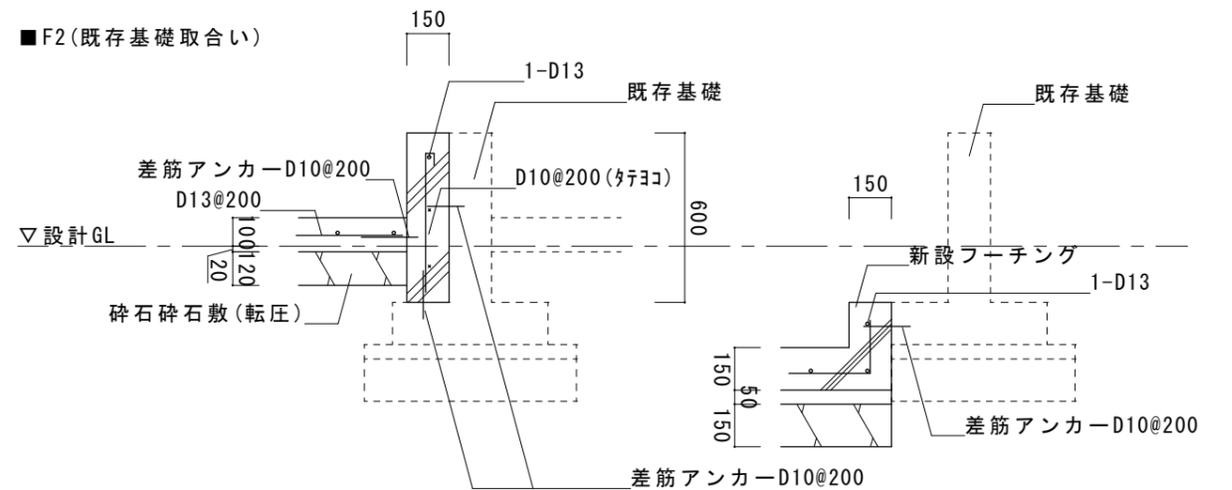
【土台用アンカーボルト】

M12 アンカーボルトは@2,000以内に配置し、基礎への埋込長さは250mm以上とする。
 ホールダウン金物を基礎に緊結する場合のM16 アンカーボルトの埋込長さは360mm以上とする。
 (柱脚部の短期許容耐力が25KNを超え35.5KN以下の場合は510mm以上)
 アンカーボルトの先端は、土台の上端よりナットの外にねじが3山以上出るように固定すること。
 アンカーボルトの取付位置は下記の通りとする。(柱からのずれは200mm以内とする)
 耐力壁(筋かい・面材耐力壁)の取り付く両端の柱部分
 土台の切れ箇所
 土台継手・仕口箇所の上木側の端部
 建物の出隅部分

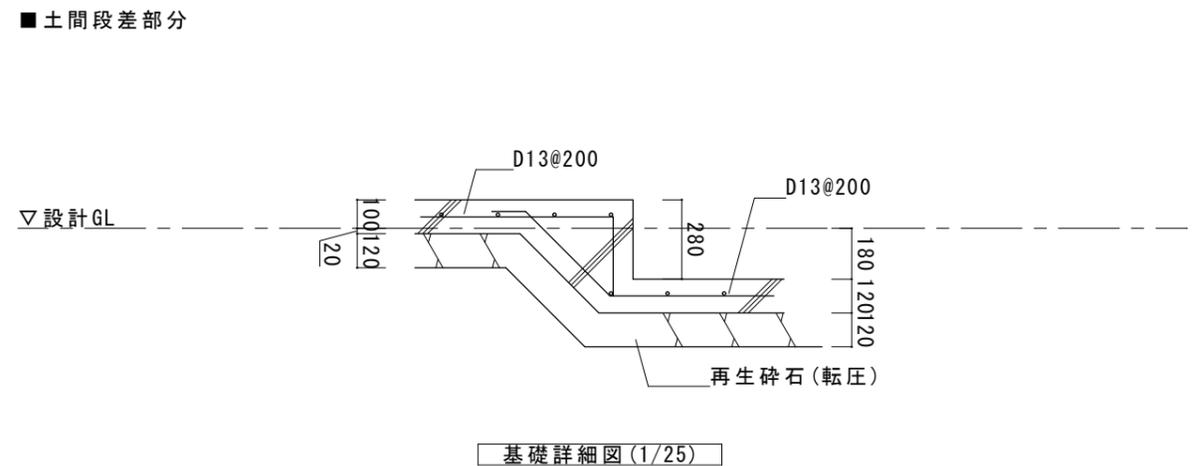
■ F1



■ F2(既存基礎取合い)

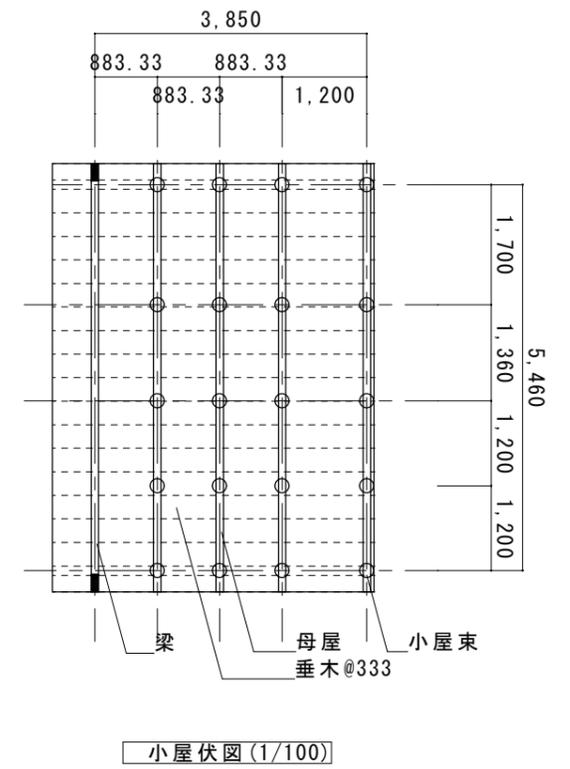
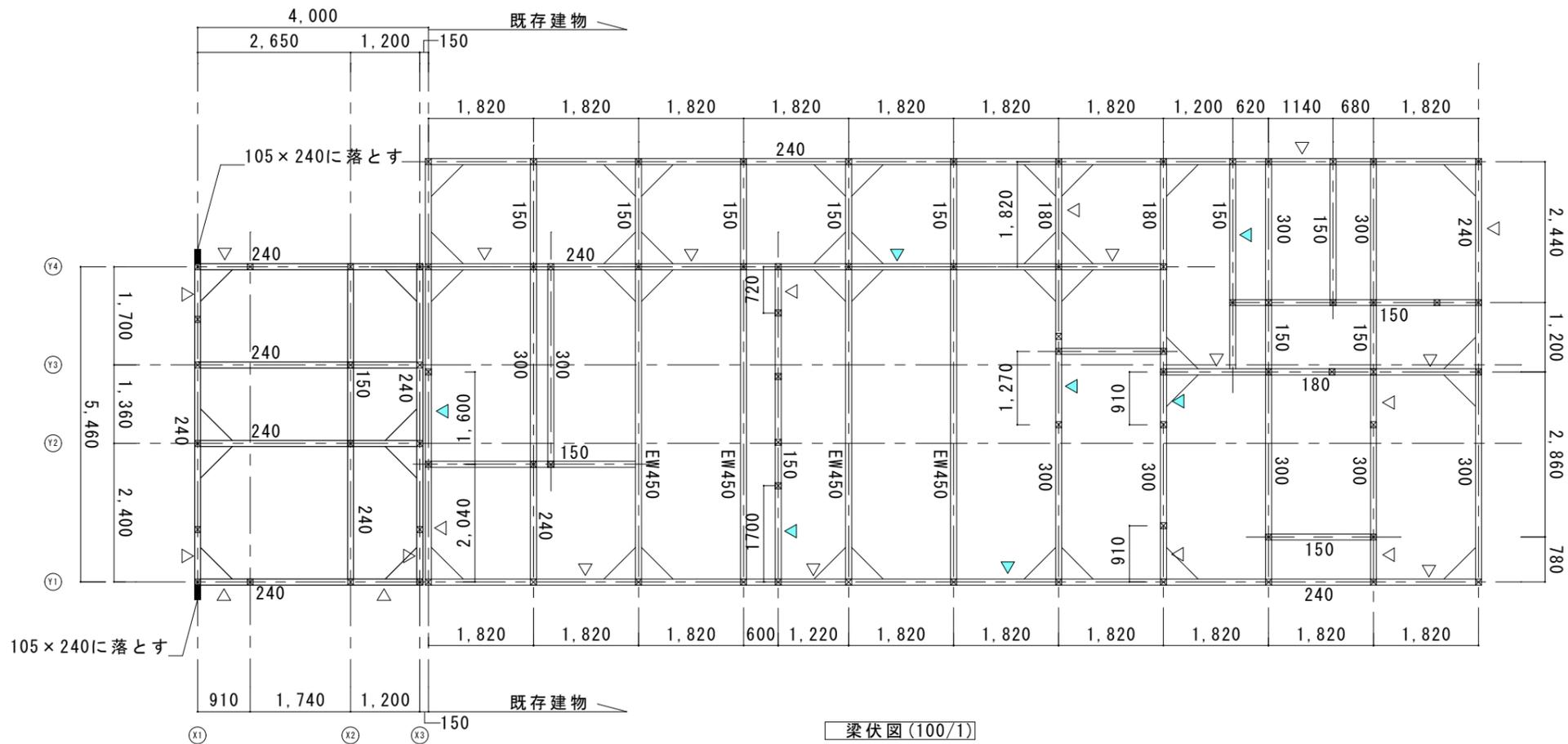


■ 土間段差部分



基礎詳細図 (1/25)

TITLE	獣肉解体処理施設増築工事	NAME	基礎伏図	SCALE	A3 1/50	※	※	※	※	 大山町役場 鳥取県西伯郡大山町御来屋328	CHECK	DRAWING	NO.
A-16													



■木材仕様

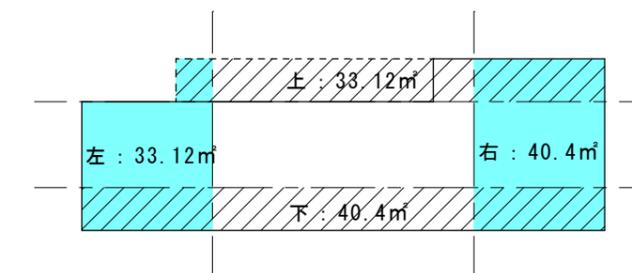
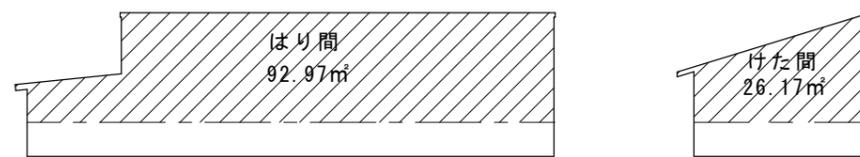
柱	: 杉 1等 105×105
間柱	: 杉 30×105
梁・桁・小屋束	: 米松KD W105
片筋かい (△)	: 米松KD 45×105シングル
両筋かい (△)	: 米松KD 45×105ダブル
火打	: 火打ち金物
吊木受け	: 米松KD 105×105
母屋	: 米松KD 105×105
垂木	: 45×60@333

■木材の品質

1. 素材及び製材の品質は、日本農林規格（JAS）の規定がある場合は、すべてこの規格に適合したものとす。
2. 構造材に用いる製材の品質は、構造用製材のJASに適合したものとす。または製材のJASで定める1等以上としKD材とする。
3. 見掛りの造作用柱、板用製材の品質は、製材のJASで定める上小節以上のものとし、心持材の場合は背割を行ったものとする。
4. 目視等級区分の針葉樹構造用製材規格については以下の通りJASによる。
甲種構造材（構造用Ⅰ） 甲種構造材（構造用Ⅱ） 乙種構造材
（短辺が9cm未満の横物） （短辺が9cm以上の横物） （柱材など）
□一級 ■二級 □三級 □一級 ■二級 □三級 □一級 □二級 □三級
5. 仕口を固める楔、栓は堅木とする。又雇材は骨組材と同材以上または堅木とする。

6. 構造用に用いる集成材は、構造用集成材のJASに適合若しくは化粧ばり集成材のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
7. 各種ボード類
(1) 合板の品質は、構造用合板若しくは普通合板等のJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
(2) 構造用パネルの品質は、構造用パネルのJASに適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
(3) ハードボード、硬質木片セメント板、シーリングボード、石膏ボード、及びラスシートはそれぞれの日本工業規格（JIS）に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。
(4) パーティクルボード、MDF（ミディアム・デンシティ・ファイバーボード）の品質はそれぞれの日本工業規格（JIS）に適合するもの又はこれらと同等以上の性能を有するものとする。

必要壁量計算	階数	地震力に対する必要壁量 (m)		風圧力に対する必要壁量 (m)		必要壁量 (m)	
		X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)
1階		床面積 (㎡) 係数 (m/㎡) 必要壁量 (m) 154.34 × 0.25 = 38.59	表材面積 (㎡) 係数 (m/㎡) 必要壁量 (m) 26.17 × 0.50 = 13.09	表材面積 (㎡) 係数 (m/㎡) 必要壁量 (m) 92.17 × 0.50 = 46.09	38.59 > 13.09 ∴ 38.59	38.59 < 46.09 ∴ 46.09	
設計壁量計算	階数	耐力壁の種類	倍率	有効壁量 (m)		判定	
				X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)	X方向 (けた行)、Y方向 (はり間)
1階		▲ 筋かい 90/45 W △ 筋かい 120/45 S	4.0 2.0	壁長 (m) 倍率 3.64 × 4.0 = 14.56 18.42 × 2.0 = 36.84 計 51.40	壁長 (m) 倍率 7.92 × 4.0 = 31.68 12.33 × 2.0 = 24.66 計 56.34	51.40 > 38.59 ∴ OK	56.34 > 46.09 ∴ OK



■平成12年建設省告示第1352号に基づく軸組の配置チェック

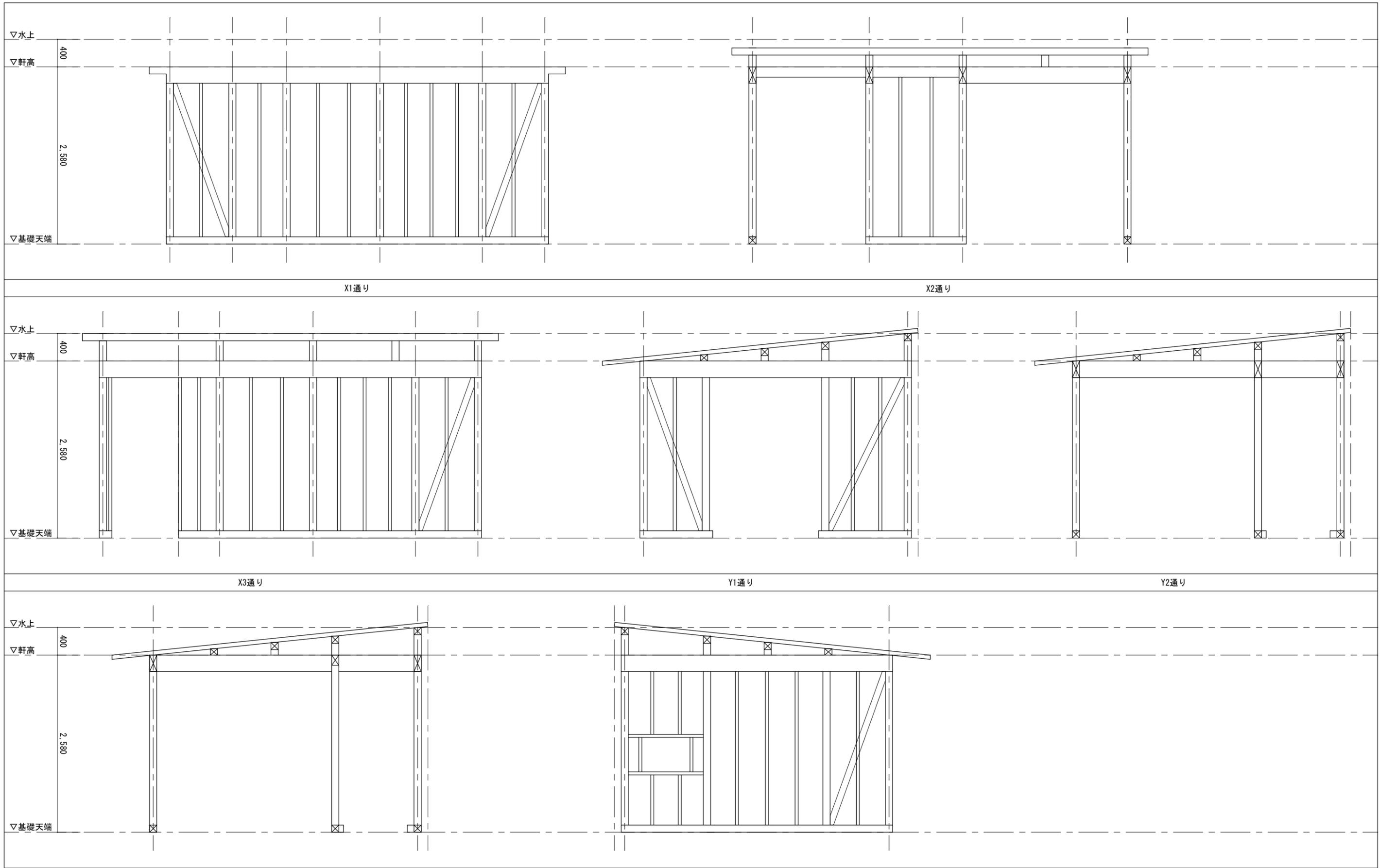
	階数	X方向		Y方向	
		側端部分 (上)	側端部分 (下)	側端部分 (左)	側端部分 (右)
存在壁量 (m)	1F	1.82 × 4.0 = 7.28 7.51 × 2.0 = 15.02	1.82 × 4.0 = 7.80 6.97 × 2.0 = 13.94	1.60 × 4.0 = 6.56 4.77 × 2.0 = 9.54	3.35 × 4.0 = 13.40 5.04 × 2.0 = 10.08
床面積 (㎡)	1F	22.30	21.74	16.10	23.48
必要壁量 (m)	1F	33.12 × 0.11 ≒ 3.64	40.40 × 0.11 ≒ 4.44	33.12 × 0.11 ≒ 3.64	40.40 × 0.11 ≒ 4.44
壁量充足率	1F	22.30 / 3.64 ≒ 6.13 ∴ OK	21.74 / 4.44 ≒ 4.90 ∴ OK	16.10 / 3.64 ≒ 4.42 ∴ OK	23.48 / 4.44 ≒ 5.29 ∴ OK
壁率比	1F	4.90 / 6.13 ≒ 0.80 ≧ 0.5 ∴ OK		4.42 / 5.29 ≒ 0.84 ≧ 0.5 ∴ OK	

※割断基準...電圧、電圧方向上にそれぞれ壁量充足率≧1.0、または壁率比≧0.5ならOK

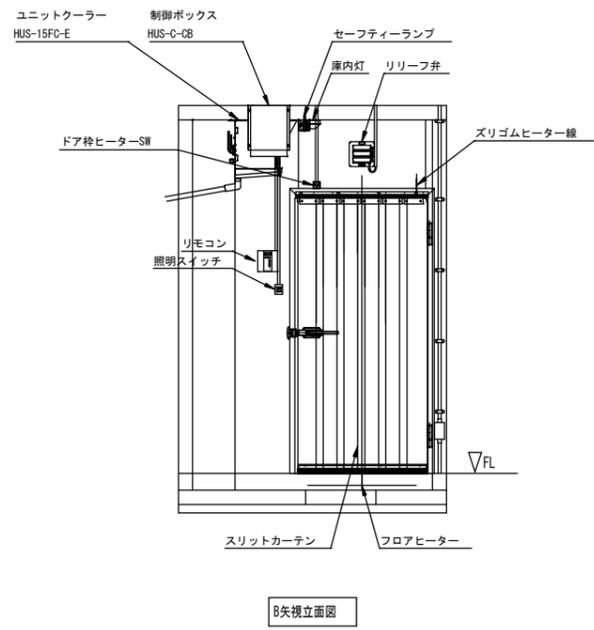
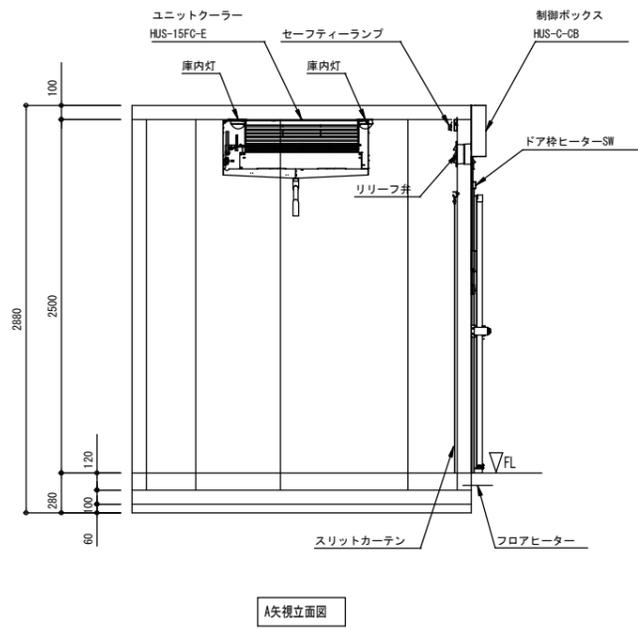
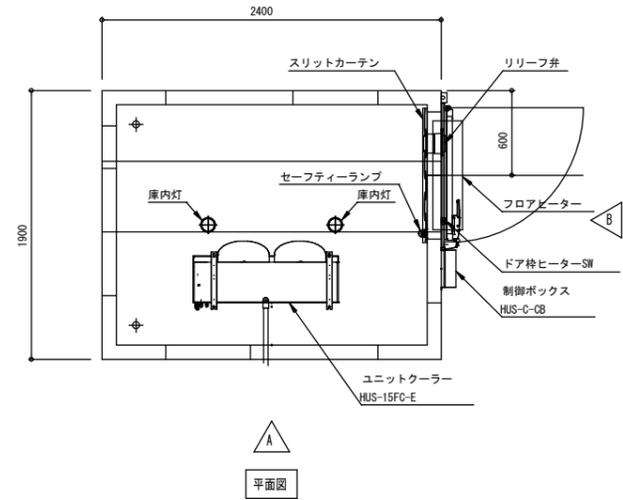
接合金物凡例	壁・軸組の種類 (倍率)	柱の位置	平屋部分	
			出隅の柱	その他の軸組の端部の柱
断面寸法45×90以上の木材の筋材を入れた軸組 (2.0)		筋材の下部が取り付く柱	(は) かど金物 (CP・V)	(ろ) かど金物 (CP・L)
		その他の柱	(ほ) 羽子板ボルト (M12) M12ナット締め ZS50釘打ち	
断面寸法45×90以上の木材の筋材をたすき掛けに入れた軸組 (4.0)			(と) ホールダウン金物 (HD・B15) 8'×3本	(に) 羽子板ボルト (M12) M12ナット締め

※筋材の継手及び仕口の構造方法については、建省第1460号に基づき施工すること



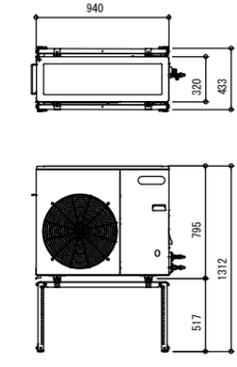


TITLE 獣肉解体処理施設増築工事	NAME 軸組図	SCALE A3 1/50	※ ※ ※ ※	 大山町役場 <small>鳥取県西伯郡大山町末長500</small>	CHECK	DRAWING	NO. A-18
------------------------------	--------------------	------------------	------------------	---	-------	---------	--------------------



製品名	プレハブ冷蔵庫
形名	PF-26, 200-1, 41
電源	単相100V 50/60Hz
外形寸法	幅2400×奥行1900×高さ2880mm 据下280mm 庫内埋込120mm 仕上内高2600mm
パネル厚	100mm
結合方式	コーナボルト
表面材	内外面共 カラー鋼板 (抗菌防カビ仕様)
断熱厚	有効開口 幅845×高さ1924mm 片断ズリ厚 1枚 扉枠ヒーター (37W) スリゾムヒーター (20W)
ベース材	重荷重樹脂製 60H
付属品	庫内灯 (LED灯4W) 2個 リリーフ弁 (36W) 1個 フロアヒーター (53, 9W) 1枚 スリットカーテン 1セット
製品名	冷凍インバーターコンデンシングユニット
形名	HUS-11FC-UC1
電源	三相 200V 60Hz
消費電力	1.39kW (66Hz)
冷凍能力	1.495kW (庫内温度-20℃ 66Hz)
外形寸法	幅940×奥行320×高さ795mm
冷媒	R448A
製品名	冷凍ユニットクーラー
形名	HUS-15FC-E
電源	単相 200V 60Hz
外形寸法	幅1030×奥行435×高さ414mm
除霜方式	ヒータ式
製品名	冷凍コントローラ
形名	HUS-C-CB
設定温度範囲	-30~-4℃
外形寸法	制御ボックス 幅295×奥行103×高さ380mm 操作ボックス 幅140×奥行24×高さ150mm

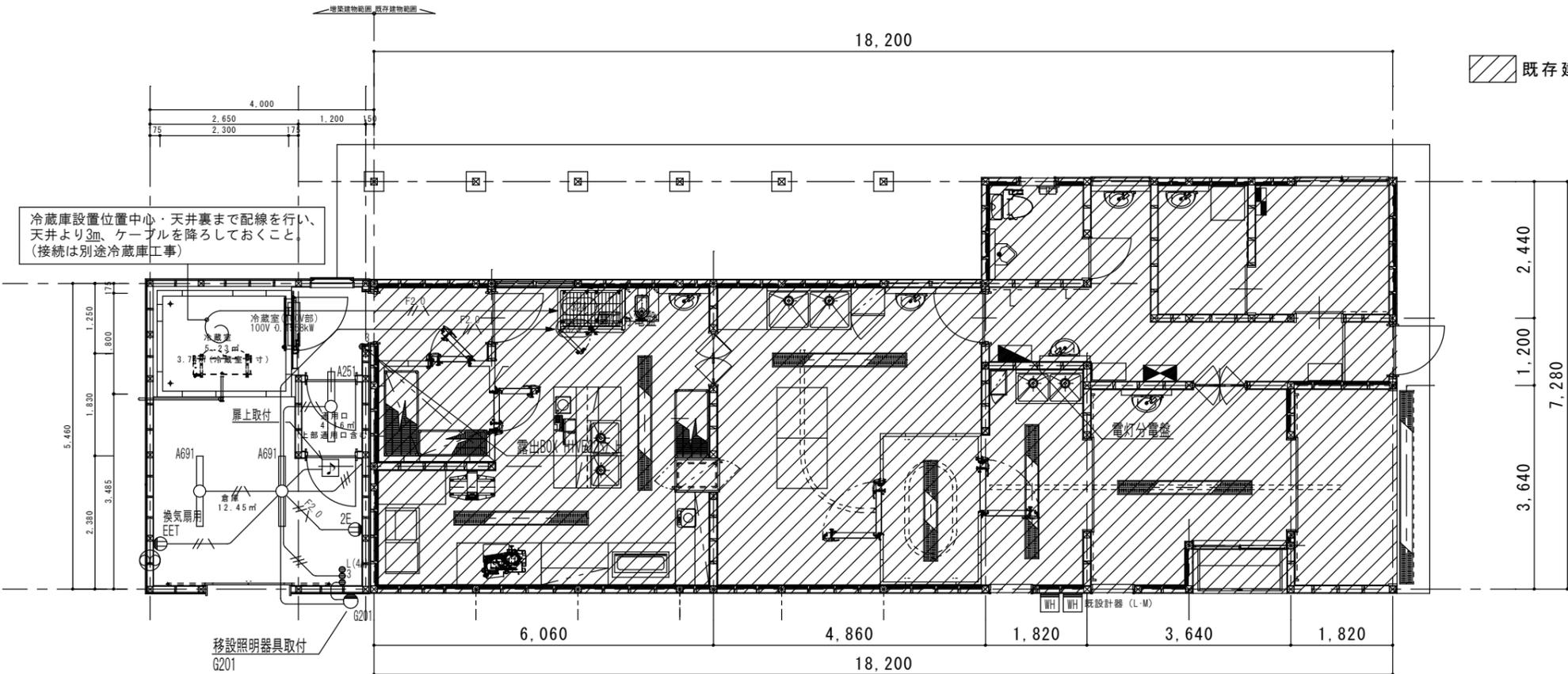
※パネル割は参考です



コンデンシングユニット HUS-11FC-UC1

18,200

既存建物の範囲を示す。



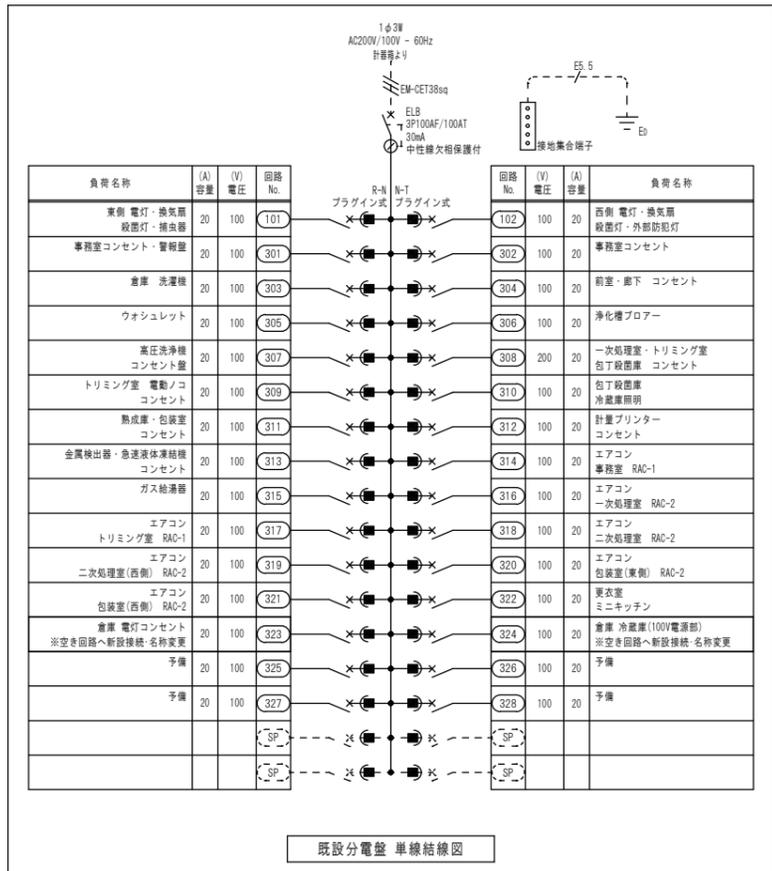
凡例 図中記号は、次による。

記号	名称	摘要
	電灯盤・動力盤	壁付露出型 傍記は盤名称
	LED照明器具	天井直付型 別図参照
	"	壁直付型 別図参照
	埋込スイッチ	1P15A
	"	3W15A
	"	1P4A(L)
	埋込コンセント	2P15A(E) × 2
	"	2P15A(E), ET
	換気扇	別図参照

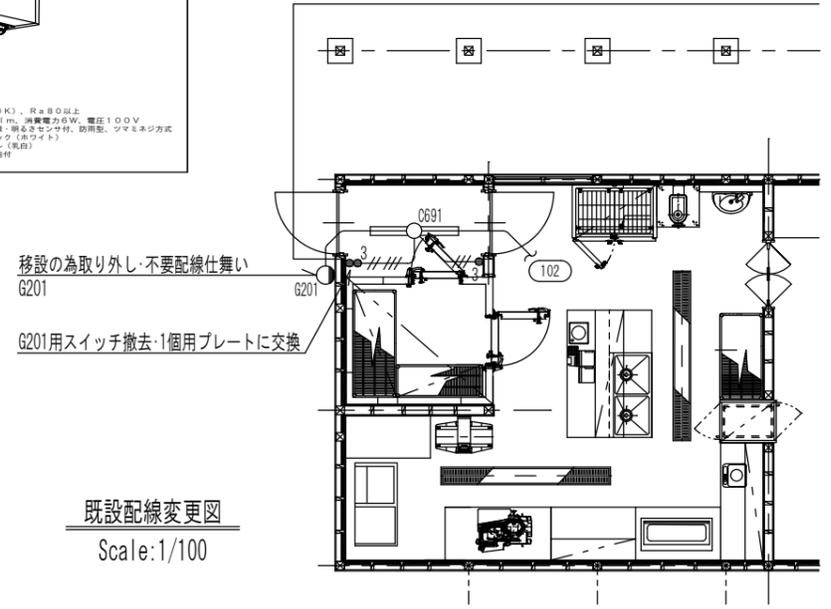
特記

1. 図中配線は、次による。

	EM-EEF1.6-2C	天井ころがし
	EM-EEF1.6-3C	"
	EM-EEF1.6-3C(1Cアース線)	"
	EM-EEF2.0-3C	"



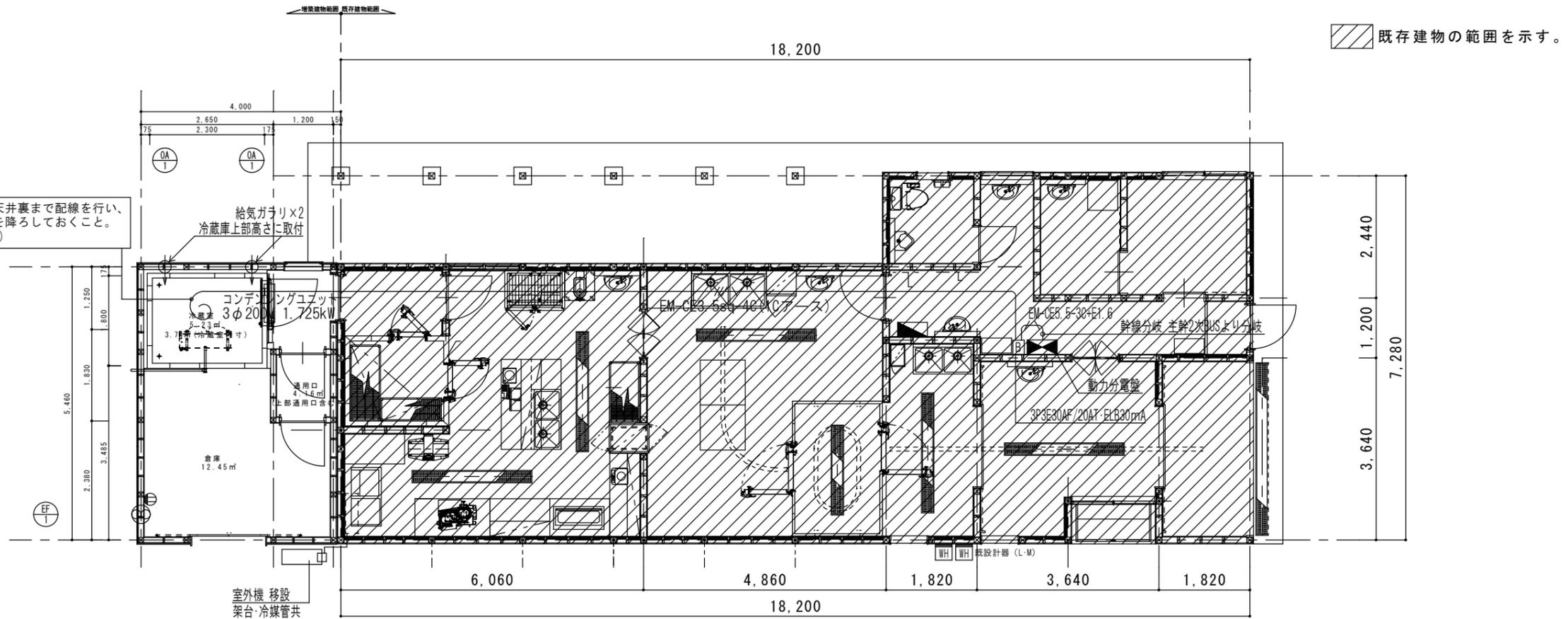
新設 倉庫×2	新設 通用口×1	移設 ポーチライト(G201)×1
A691 倉庫照明 LED 40形 iDシリーズ直付型 6900lmタイプ HACCP向け照明器具クリンフーズシリーズ	A251 倉庫照明 LED 40形 iDシリーズ直付型 2500lmタイプ HACCP向け照明器具クリンフーズシリーズ	B LEDポーチライト LED 6.0W 拡散タイプ 熱線・明るさセンサ付
パナソニック 直付XLX460ZENTLE9	パナソニック 直付XLX420ZENTLE9	パナソニック LGWC80350LE1
一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V 本体・筐体(非可燃性樹脂製) カバー:アクリル(透明・帯電防止処理) ライトカバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率B5%) 昼白色(5000K)、R=0.3、電源装置はライトカバー内に内蔵	一般タイプ、2500lmタイプ 消費電力16.3W、定格出力型、電圧100~242V 本体・筐体(非可燃性樹脂製) カバー:アクリル(透明・帯電防止処理) ライトカバー(カバー):ポリカーボネート(乳白) 光源寿命40000時間(光束維持率B5%) 昼白色(5000K)、R=0.3、電源装置はライトカバー内に内蔵	電線径(2700K)、R=0.3以上 器具高さ280mm、消費電力6W、電圧100V 拡散タイプ、熱線・明るさセンサ付、防雨型、ツマミメッキ方式 本体:プラスチック(ホワイト) カバー:アクリル(乳白) 点灯時間調整器付



既設配線変更図
Scale:1/100

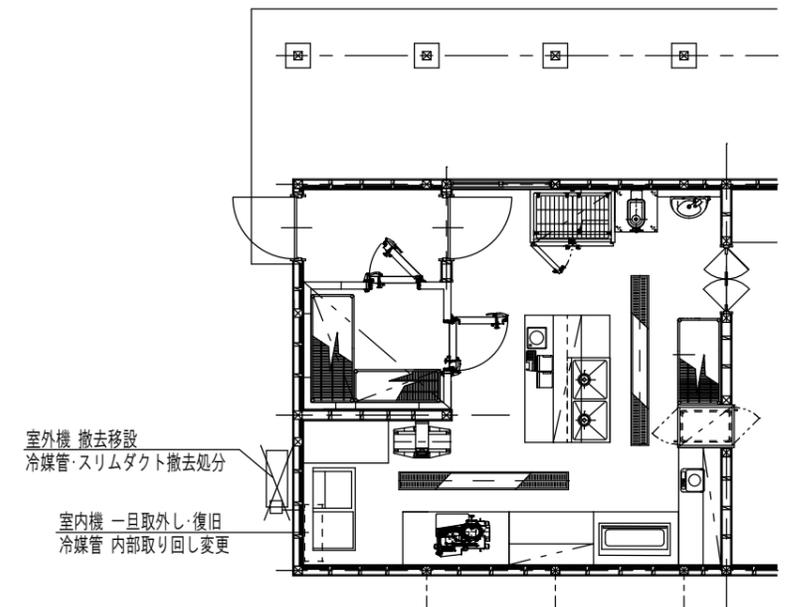


冷蔵庫設置位置中心・天井裏まで配線を行い、天井より5m、ケーブルを降ろしておくこと。(接続は別途冷蔵庫工事)



増築倉庫 換気機器表 7-ド'及び7-ガ'-指定色塗装なし

記号	名称	仕様	室名	参考品番・付属品	台数
EF 1	有圧換気扇	格子タイプ・電動シャッター付 20cm 金属製軸流羽根	倉庫 (増築部)	有圧扇本体 EFG-20KSB2-W	1
		単相 100V		取付木枠 PS-20KW3	1
OA 1	給気ガラリ	ネットフィルター付風量調節形 ダクト径 φ150	倉庫 (増築部)	P-18GLMF5	2
	有圧換気扇用 ウェザーカバー	20cm SUS高耐食タイプ FE-1	倉庫 (増築部)	W-20SBFMKT	1
	給気ガラリ用 深形フード	SUS 防虫網10M φ150 OA-1	倉庫 (増築部)	P-18JSQ	2



既設エアコン室外機移設図
Scale:1/100

